

## 調査結果の概要

# 調査結果の概要

## I 一般的意識調査

### 1. 興味のあるもの

問1 あなたが現在興味のあるものについて、次の中から興味のある順に3つ選んで下の欄に記入してください。

(1) 全体の傾向 (図表 I-1-1)・・・「音楽や映画」「自分の進路」が高い

① 選択の順位を問わない集計・・・「音楽や映画」がトップ

1位から3位まで重みをつけずに単純集計すると、「音楽や映画」(18.0%)が最も高く、次いで「自分の進路(進学、就職)」(15.3%)「情報メディア(パソコン、携帯電話、SNS等)」(12.0%)「ファッション」(10.5%)となっている。

② 第1位の選択の項目(図表 I-1-2)・・・「自分の進路」がトップ

最も興味のあるものとして選択された項目は、「自分の進路」(23.0%)が最も高く、次いで「音楽や映画」(16.4%)「ファッション」(11.7%)「情報メディア」(11.1%)となっている。

これを①と比べると、「自分の進路」の割合が高くなっている。

(2) 回答者の属性別の特徴(図表 I-1-3)

① 男女別にみると・・・男女とも「自分の進路」がトップ

男女別の第1位に選択された項目は、男子では「自分の進路」(22.3%)「音楽や映画」(13.3%)「部活動」(12.9%)の順であり、女子では「自分の進路」(23.8%)「音楽や映画」(19.1%)「ファッション」(16.4%)の順である。

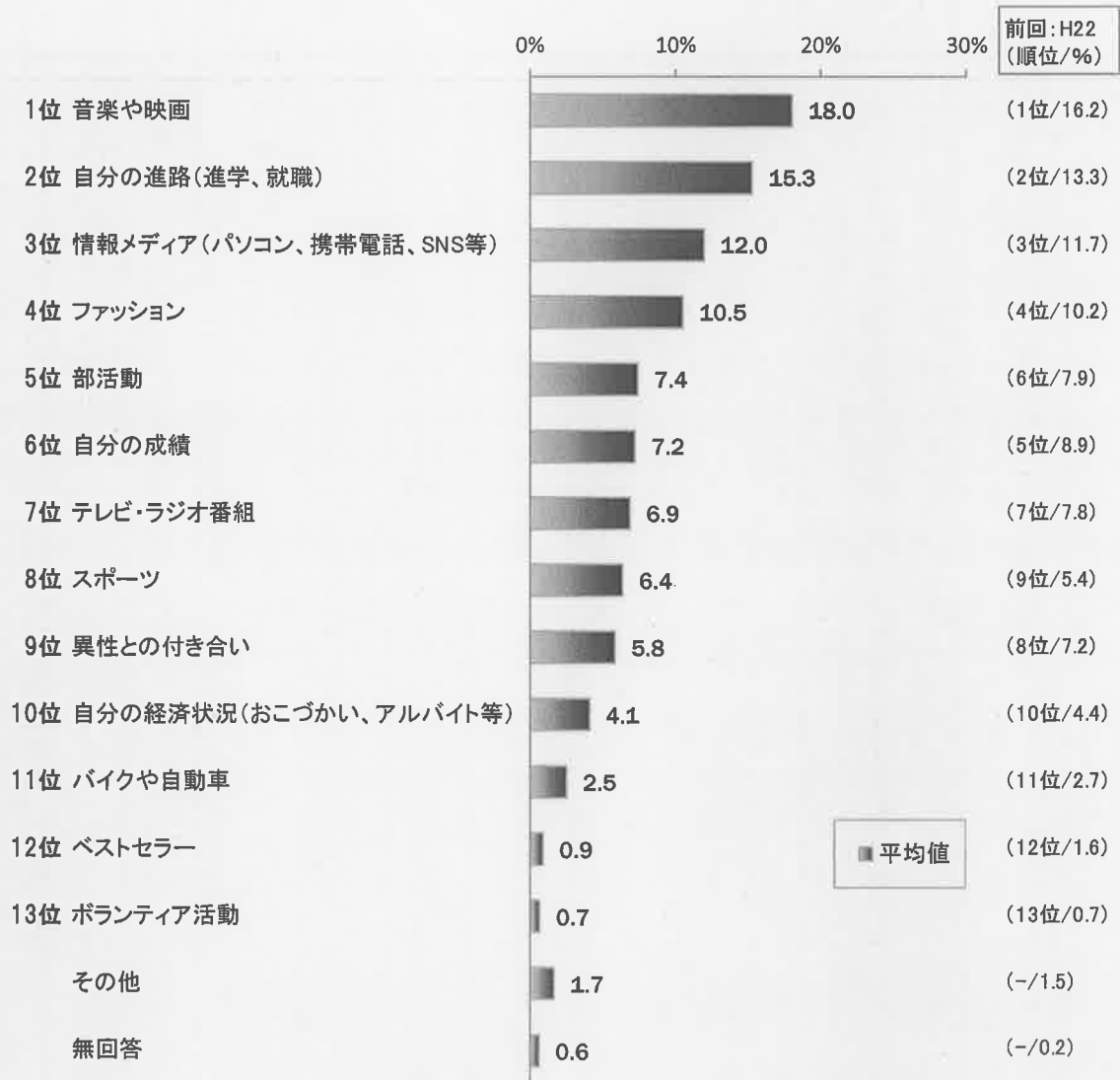
② 学年別にみると・・・3年生では半数近くが「自分の進路」

学年別に第1位に選んでいる項目では、1年生が「音楽や映画」(19.8%)、2年生も「音楽や映画」(17.8%)であるのに対し、3年生では「自分の進路」(47.1%)が突出して高く、進路問題への関心が高くなっている。

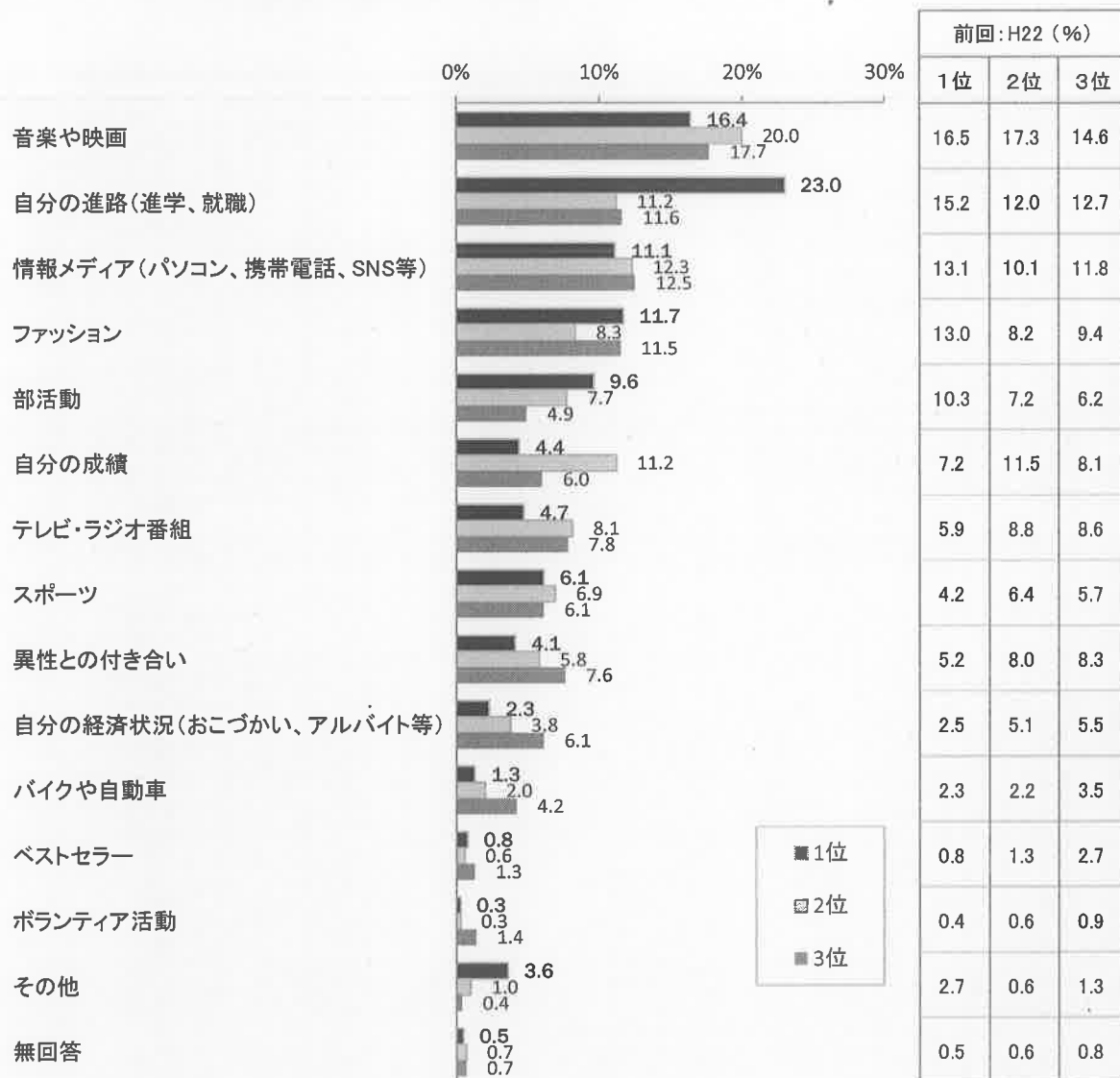
(3) 1-2-3位の組合せ(図表 I-1-4)

興味のあるものの1位から3位の組み合わせの上位をみると、ほとんどの組み合わせに「音楽や映画」「自分の進路」があり、興味・関心の高さがうかがえる。

図表 I - 1 - 1 現在興味のあるもの〈順位によるウェイトを考慮しない平均値〉



図表 I - 1 - 2 現在興味のあるもの〈順位別、MA : 3〉



図表 I - 1 - 3 現在の興味〈男女別・学年別それぞれの上位項目〉

%	男子 N=497		前回:H22	女子 N=593		前回:H22
	1位	自分の進路	22.3	13.8	自分の進路	23.8
	音楽や映画	13.3	13.5	音楽や映画	19.1	21.7
	部活動	12.9	12.4	ファッション	16.4	16.1
	情報メディア	11.1	17.7	情報メディア	11.3	8.8
	スポーツ	9.9	6.2	部活動	6.9	7.6
2位	音楽や映画	13.3	15.2	音楽や映画	26.1	17.1
	情報メディア	12.9	11.2	自分の進路	11.8	11.8
	自分の成績	11.5	9.8	情報メディア	11.5	8.6
	部活動	11.3	9.3	自分の成績	11.3	13.6
	スポーツ	10.9	10.1	ファッション	10.8	11.1
3位	音楽や映画	18.7	12.6	音楽や映画	16.9	15.4
	自分の進路	12.1	11.0	ファッション	15.7	15.1
	情報メディア	9.7	8.4	情報メディア	15.2	13.9
	スポーツ	9.5	10.1	自分の進路	11.5	12.1
	異性との付き合い	9.1	11.2	テレビ・ラジオ番組	9.4	9.3

%	1年生 N=328		前回:H22	2年生 N=394		前回:H22	3年生 N=391		前回:H22
	1位	音楽や映画	19.8	17.5	音楽や映画	17.8	19.3	自分の進路	47.1
	部活動	17.4	14.5	自分の進路	14.0	11.0	音楽や映画	12.3	12.1
	ファッション	15.5	11.5	ファッション	12.9	15.0	ファッション	7.2	11.5
	情報メディア	14.9	19.7	情報メディア	12.4	10.4	情報メディア	6.6	11.8
	スポーツ	7.0	4.8	部活動	11.2	11.0	自分の成績	5.9	11.0
2位	音楽や映画	23.8	17.8	音楽や映画	18.3	16.8	自分の成績	19.4	16.5
	情報メディア	14.9	12.3	自分の進路	11.7	9.4	音楽や映画	18.7	17.6
	自分の進路	10.7	9.3	部活動	10.7	9.1	情報メディア	13.3	8.2
	部活動	10.4	6.7	自分の成績	9.6	10.4	自分の進路	11.3	17.6
	テレビ・ラジオ番組	10.1	10.8	情報メディア	9.1	10.4	ファッション	7.9	7.4
3位	音楽や映画	16.5	17.1	音楽や映画	17.3	11.6	音楽や映画	19.2	16.8
	情報メディア	13.4	11.5	ファッション	12.4	8.7	情報メディア	13.6	9.1
	自分の進路	12.8	7.1	自分の進路	11.2	13.9	ファッション	11.0	10.2
	テレビ・ラジオ番組	11.6	7.1	情報メディア	10.7	14.1	自分の進路	11.0	15.1
	ファッション	11.0	9.7	異性との付き合い	9.6	8.3	異性との付き合い	8.4	6.9

図表 I - 1 - 4 現在の興味〈1 - 2 - 3位の組み合わせ 上位項目〉

	1位	2位	3位	回答数(人)
1位	自分の進路	自分の成績	音楽や映画	26
2位	自分の進路	自分の成績	情報メディア	21
3位	音楽や映画	テレビ・ラジオ番組	情報メディア	12
3位	自分の進路	音楽や映画	情報メディア	12
5位	ファッション	音楽や映画	情報メディア	10
5位	音楽や映画	自分の進路	ファッション	10
5位	音楽や映画	情報メディア	自分の進路	10
5位	自分の進路	音楽や映画	ファッション	10
5位	情報メディア	テレビ・ラジオ番組	音楽や映画	10
10位	ファッション	音楽や映画	テレビ・ラジオ番組	9
10位	自分の進路	自分の成績	テレビ・ラジオ番組	9

## 2. 生活で悩んでいること

問2 あなたが現在の生活で悩んでいることについて、次の中から悩みの度合いの高い順に3つ選んで下の欄に記入して下さい。

### (1) 全体の傾向・・・「自分の進路」「自分の成績」が高い

#### ① 選択の順位を問わない集計（図表I-2-1）・・・「自分の進路」がトップ

1位から3位まで重みをつけずに単純に集計した場合は、「自分の進路（進学、就職）」(24.1%) 「自分の成績」(21.6%)の2項目が圧倒的に高く、次いで「自分の性格」(10.2%) 「友人との人間関係」(9.4%)となっている。

#### ② 第1位の選択の項目（図表I-2-2）・・・「自分の進路」がトップ

生活で最も悩んでいることとして選択された項目は、「自分の進路」(38.0%)が最も高く、次いで「自分の成績」(29.7%) 「友人との人間関係」(7.8%) 「自分の性格」(6.2%)の順である。これを①と比較すると、「自分の進路」や「自分の成績」の割合の高さが際立っており、これらの項目がより強く選択されている。

### (2) 回答者の属性別の特徴（図表I-2-3）

#### ① 男女別にみると・・・男女とも「自分の進路」「自分の成績」が上位

男女別の1位、2位に選択された項目は、男子では「自分の進路」(38.8%) 「自分の成績」(30.6%)、女子では「自分の進路」(37.8%) 「自分の成績」(29.2%)と、傾向はほぼ同じである。次いで、男子では「友人との人間関係」(6.0%) 「自分の性格」(6.0%)、女子では「友人との人間関係」(9.1%) 「自分の性格」(6.4%)となっている。

#### ② 学年別にみると・・・3年生は「自分の進路」が半数以上

学年別の第1位に選択された項目は、1年生は「自分の成績」(32.6%) 「自分の進路」(25.9%)の順であるが、2年生および3年生では「自分の進路」(2年生 34.5%、3年生 51.7%)が「自分の成績」(同 32.0%、25.1%)を上回る。具体的な進路の選択が現実問題化する学年では、「進路」の悩みを感じている生徒の割合も高い。

### (3) 1-2-3位の組合せ（図表I-2-4）

悩みの1位と2位に挙げられるのは、「自分の成績」「自分の進路」であり、他の項目に比べて圧倒的に多い。

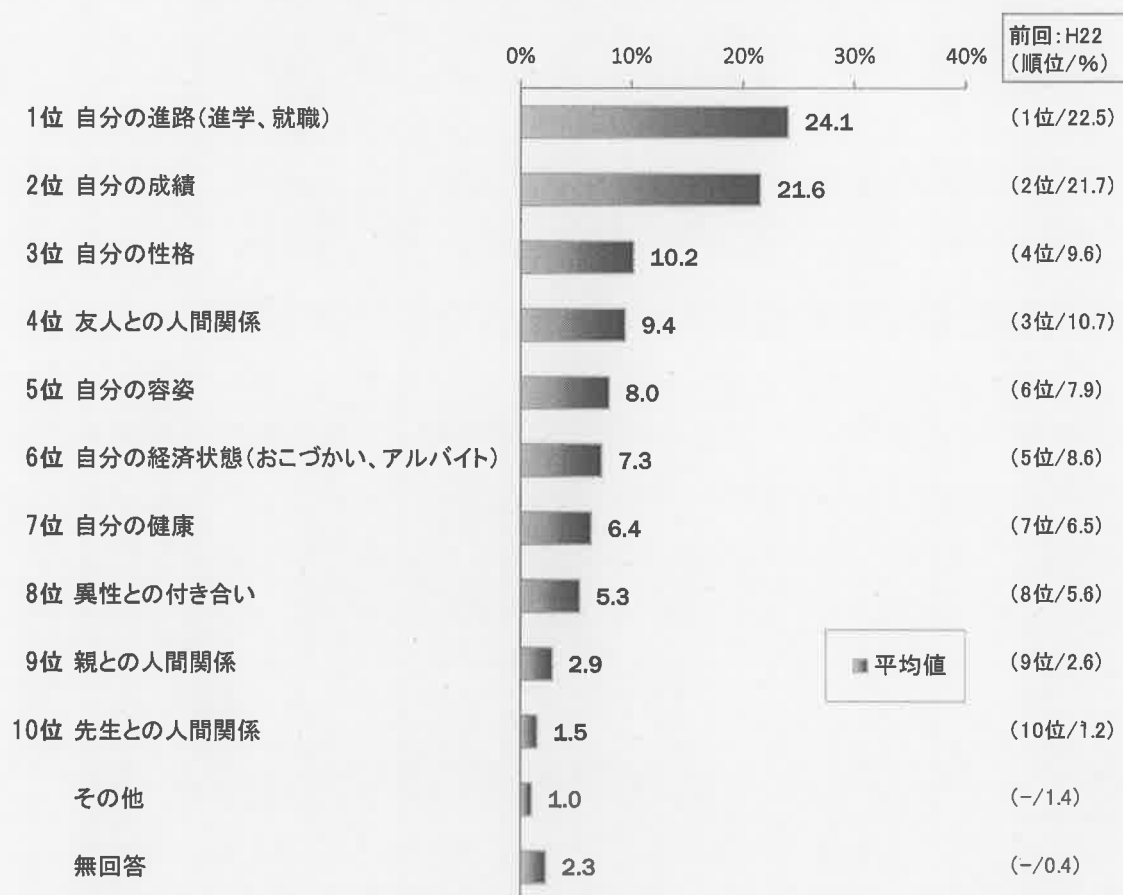
### (4) 希望進路による区分（図表I-2-5）

希望する進路別にみると、「自分の進路」(就職したい 35.9%、進学したい 39.7%)を、就職希望者、進学希望者ともに大きな悩みとしてあげているが、「自分の成績」(同 19.8%、33.5%)については、受験を控えた進学希望者がより多く悩みとしている。

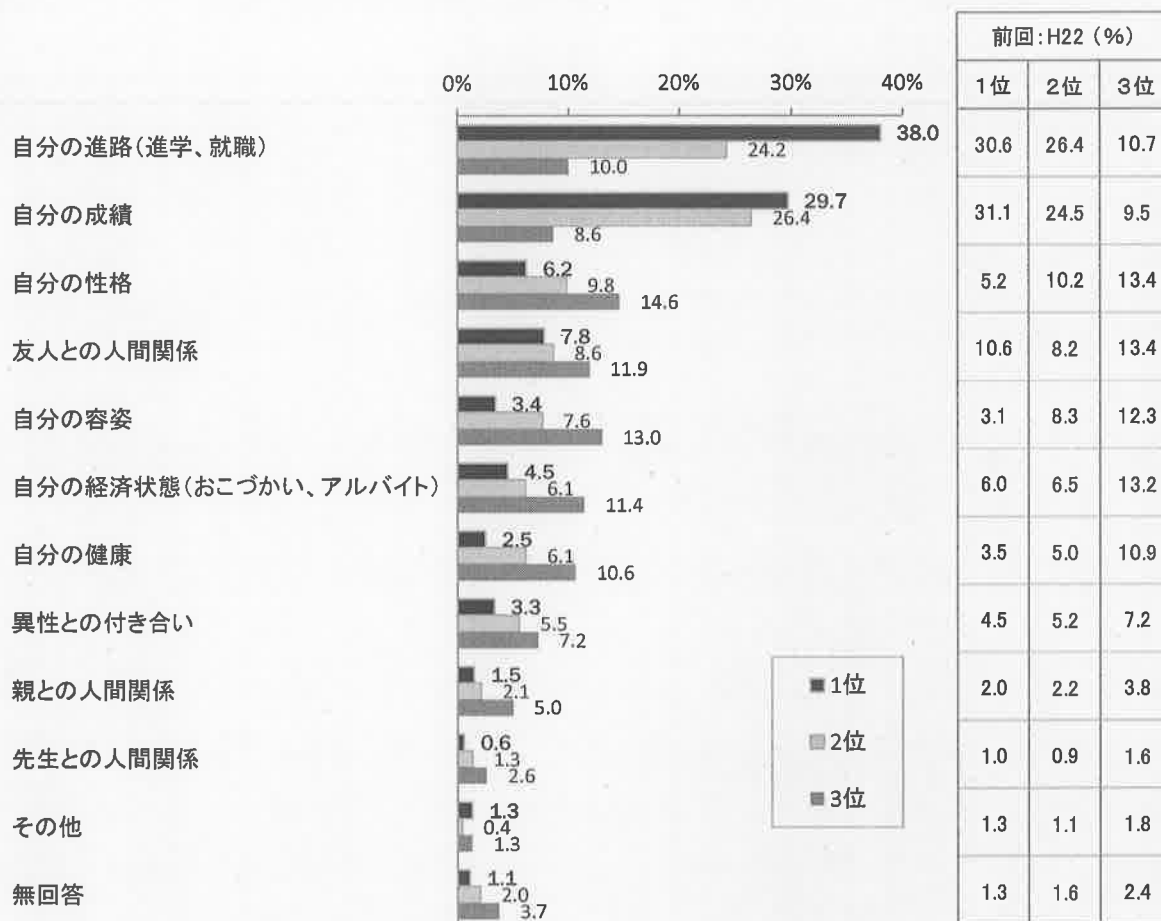
(5) 「興味」との関係 (図表 I-2-6)

〔興味のあるもの〕の設問との関係でみると、「自分の進路」が、最も興味があると同時に最も悩みの大きい項目であるとする回答が多く、進路問題が高校生活で大きなウェイトを占めていることがうかがえる。

図表 I-2-1 生活で悩んでいること (順位によるウェイトを考慮しない平均値)



図表 I-2-2 生活で悩んでいること〈順位別、MA:3〉





図表 I - 2 - 3 生活の悩み〈男女別・学年別それぞれの上位項目〉

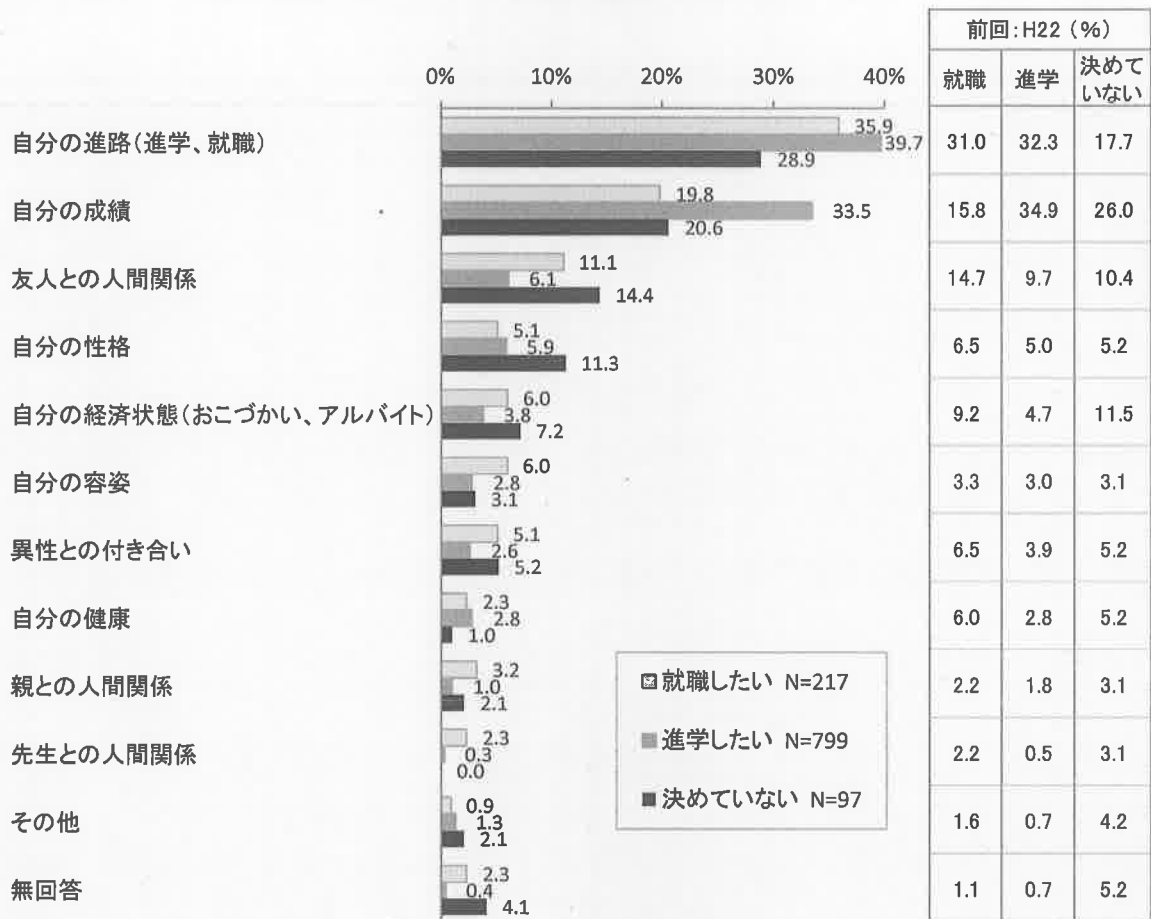
%	男子 N=497		前回:H22	女子 N=593		前回:H22
	1位	自分の進路	38.8	31.1	自分の進路	37.8
	自分の成績	30.6	30.3	自分の成績	29.2	32.2
	友人との人間関係	6.0	9.0	友人との人間関係	9.1	11.8
	自分の性格	6.0	4.5	自分の性格	6.4	5.5
	自分の経済状態	5.0	8.1	自分の容姿	4.6	3.8
2位	自分の成績	25.8	27.8	自分の成績	26.8	23.4
	自分の進路	25.8	25.3	自分の進路	22.9	26.7
	自分の経済状態	8.0	6.5	自分の性格	11.8	11.8
	自分の性格	7.4	7.6	友人との人間関係	9.9	9.1
	異性との付き合い	7.2	6.7	自分の容姿	9.6	10.1
3位	自分の性格	14.5	11.5	自分の容姿	17.2	15.6
	自分の経済状態	13.5	12.9	友人との人間関係	16.0	14.9
	自分の健康	13.3	14.0	自分の性格	15.2	15.9
	自分の進路	10.1	11.0	自分の進路	9.8	9.1
	異性との付き合い	8.9	10.4	自分の経済状態	9.4	10.6
	自分の成績	8.9	10.1			

%	1年生 N=328		前回:H22	2年生 N=394		前回:H22	3年生 N=391		前回:H22
	1位	自分の成績	32.6	35.7	自分の進路	34.5	28.3	自分の進路	51.7
	自分の進路	25.9	14.9	自分の成績	32.0	29.7	自分の成績	25.1	29.4
	友人との人間関係	11.9	14.5	友人との人間関係	7.9	12.9	友人との人間関係	4.3	4.7
	自分の性格	10.1	7.8	自分の性格	5.6	4.6	自分の経済状態	3.8	3.8
	自分の経済状態	4.9	9.3	異性との付き合い	5.1	4.6	自分の性格	3.6	4.1
2位	自分の進路	25.6	24.5	自分の成績	26.1	23.7	自分の成績	30.9	29.4
	自分の成績	21.3	19.3	自分の進路	24.9	26.4	自分の進路	22.3	27.7
	友人との人間関係	11.0	11.9	友人との人間関係	9.6	8.9	自分の性格	10.7	9.3
	自分の性格	10.1	10.8	自分の性格	8.6	10.6	自分の健康	7.4	6.3
	自分の容姿	7.3	8.2	自分の容姿	8.4	7.9	自分の容姿	7.2	9.1
3位	自分の性格	16.2	10.4	友人との人間関係	13.2	15.0	自分の容姿	18.2	15.1
	自分の進路	12.8	14.5	自分の性格	13.2	13.5	自分の性格	14.8	15.4
	自分の健康	11.9	9.7	自分の経済状態	12.7	13.3	友人との人間関係	11.0	12.9
	友人との人間関係	11.3	11.2	自分の容姿	11.9	11.9	自分の経済状態	10.5	12.9
	自分の経済状態	11.0	13.4	自分の進路	10.7	12.3	自分の健康	10.0	12.1

図表 I - 2 - 4 生活の悩み〈1 - 2 - 3位の組み合わせ上位項目〉

	1位	2位	3位	回答数(人)
1位	自分の成績	自分の進路	自分の性格	46
2位	自分の進路	自分の成績	自分の健康	42
2位	自分の進路	自分の成績	自分の性格	42
4位	自分の進路	自分の成績	自分の容姿	38
5位	自分の成績	自分の進路	自分の経済状態	37
6位	自分の進路	自分の成績	自分の経済状態	34
6位	自分の進路	自分の成績	友人との人間関係	34
8位	自分の成績	自分の進路	自分の健康	29
9位	自分の成績	自分の進路	自分の容姿	26
10位	自分の成績	自分の進路	友人との人間関係	23

図表 I-2-5 生活で悩んでいること〈希望進路別、第1位〉



図表 I - 2 - 6 現在の興味 (1位) / 生活の悩み (1位)

		問2 生活の悩み(1位)													
		全体	友人との人間関係	異性との付き合い	親との人間関係	先生との人間関係	自分の成績	自分の進路	自分の性格	自分の容姿	自分の健康	自分の経済状態	その他	無回答	
問1 現在の興味(1位)	全体	回答者数(人)	1113	87	37	17	7	331	423	69	38	28	50	14	12
		横構成比(%)	100.0	7.8	3.3	1.5	0.6	29.7	38.0	6.2	3.4	2.5	4.5	1.3	1.1
		縦構成比(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		回答者数(人)	130	15	5	2	-	39	37	10	11	-	6	3	2
		横構成比(%)	100.0	11.5	3.8	1.5	-	30.0	28.5	7.7	8.5	-	4.6	2.3	1.5
		縦構成比(%)	11.7	17.2	13.5	11.8	-	11.8	8.7	14.5	28.9	-	12.0	21.4	16.7
		回答者数(人)	46	-	11	1	2	9	13	-	6	-	4	-	-
		横構成比(%)	100.0	-	23.9	2.2	4.3	19.6	28.3	-	13.0	-	8.7	-	-
		縦構成比(%)	4.1	-	29.7	5.9	28.6	2.7	3.1	-	15.8	-	8.0	-	-
		回答者数(人)	14	-	2	-	-	3	2	1	1	1	3	-	1
		横構成比(%)	100.0	-	14.3	-	-	21.4	14.3	7.1	7.1	7.1	21.4	-	7.1
		縦構成比(%)	1.3	-	5.4	-	-	0.9	0.5	1.4	2.6	3.6	6.0	-	8.3
		回答者数(人)	9	2	-	-	-	4	2	-	-	-	1	-	-
		横構成比(%)	100.0	22.2	-	-	-	44.4	22.2	-	-	-	11.1	-	-
		縦構成比(%)	0.8	2.3	-	-	-	1.2	0.5	-	-	-	2.0	-	-
	回答者数(人)	124	12	2	2	-	43	37	9	6	4	7	-	2	
	横構成比(%)	100.0	9.7	1.6	1.6	-	34.7	29.8	7.3	4.8	3.2	5.6	-	1.6	
	縦構成比(%)	11.1	13.8	5.4	11.8	-	13.0	8.7	13.0	15.8	14.3	14.0	-	16.7	
	回答者数(人)	52	3	-	-	-	21	18	4	2	3	1	-	-	
	横構成比(%)	100.0	5.8	-	-	-	40.4	34.6	7.7	3.8	5.8	1.9	-	-	
	縦構成比(%)	4.7	3.4	-	-	-	6.3	4.3	5.8	5.3	10.7	2.0	-	-	
	回答者数(人)	183	21	7	6	2	57	57	14	3	5	8	2	1	
	横構成比(%)	100.0	11.5	3.8	3.3	1.1	31.1	31.1	7.7	1.6	2.7	4.4	1.1	0.5	
	縦構成比(%)	16.4	24.1	18.9	35.3	28.6	17.2	13.5	20.3	7.9	17.9	16.0	14.3	8.3	
	回答者数(人)	68	6	3	1	-	25	21	5	-	2	3	1	1	
	横構成比(%)	100.0	8.8	4.4	1.5	-	36.8	30.9	7.4	-	2.9	4.4	1.5	1.5	
	縦構成比(%)	6.1	6.9	8.1	5.9	-	7.6	5.0	7.2	-	7.1	6.0	7.1	8.3	
	回答者数(人)	107	12	2	-	1	31	42	9	-	2	3	3	2	
	横構成比(%)	100.0	11.2	1.9	-	0.9	29.0	39.3	8.4	-	1.9	2.8	2.8	1.9	
	縦構成比(%)	9.6	13.8	5.4	-	14.3	9.4	9.9	13.0	-	7.1	6.0	21.4	16.7	
	回答者数(人)	3	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
	横構成比(%)	100.0	-	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	
	縦構成比(%)	0.3	-	2.7	-	-	-	-	0.2	1.4	-	-	-	-	
	回答者数(人)	49	2	-	-	-	34	9	1	2	-	-	1	-	
	横構成比(%)	100.0	4.1	-	-	-	69.4	18.4	2.0	4.1	-	-	2.0	-	
	縦構成比(%)	4.4	2.3	-	-	-	10.3	2.1	1.4	5.3	-	-	7.1	-	
	回答者数(人)	256	6	3	4	1	49	172	9	3	6	2	1	-	
	横構成比(%)	100.0	2.3	1.2	1.6	0.4	19.1	67.2	3.5	1.2	2.3	0.8	0.4	-	
	縦構成比(%)	23.0	6.9	8.1	23.5	14.3	14.8	40.7	13.0	7.9	21.4	4.0	7.1	-	
	回答者数(人)	26	3	1	1	1	4	2	2	3	2	7	-	-	
	横構成比(%)	100.0	11.5	3.8	3.8	3.8	15.4	7.7	7.7	11.5	7.7	26.9	-	-	
	縦構成比(%)	2.3	3.4	2.7	5.9	14.3	1.2	0.5	2.9	7.9	7.1	14.0	-	-	
	回答者数(人)	40	4	-	-	-	10	10	4	1	2	5	3	1	
	横構成比(%)	100.0	10.0	-	-	-	25.0	25.0	10.0	2.5	5.0	12.5	7.5	2.5	
	縦構成比(%)	3.6	4.6	-	-	-	3.0	2.4	5.8	2.6	7.1	10.0	21.4	8.3	
	回答者数(人)	6	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	2	
	横構成比(%)	100.0	16.7	-	-	-	33.3	-	-	-	16.7	-	-	33.3	
	縦構成比(%)	0.5	1.1	-	-	-	0.6	-	-	-	3.6	-	-	16.7	

### 3. 地元への定住意識

問3 あなたは、富山県に将来も住みたいと思いますか。次の中から、あなたの考え方に近いものを1つ選んでその番号に○印をつけて下さい。

#### (1) 全体の傾向 (図表 I-3-1)

・・・「一度は県外へ出ても、富山に戻って住みたい」が高い

「ずっと住みたい」(17.5%)「一度は県外へ出ても、富山に戻って住みたい」(42.3%)を合わせると、6割弱が将来、富山に住むことを希望している。

#### (2) 回答者の属性別の特徴 (図表 I-3-1)

##### ① 男女別にみると・・・女子の方が転出願望が高い

男女別の定住意識をみると、「ずっと住みたい」(男子 17.1%、女子 17.7%)「一度は県外へ出ても、富山に戻って住みたい」(同 42.9%、42.2%)を合わせた富山への定住意識は、男女ともに約6割と、ほとんど差異はみられない。一方、「住みたくない」との回答は、女子が男子を上回っている。

##### ② 地区別にみると・・・砺波地区は半数がUターンを希望

在学する高校の所在地区別にみると、砺波地区では「ずっと住みたい」(11.6%)が全体を下回るものの、半数が「一度は県外へ出ても、富山に戻って住みたい」と回答している。

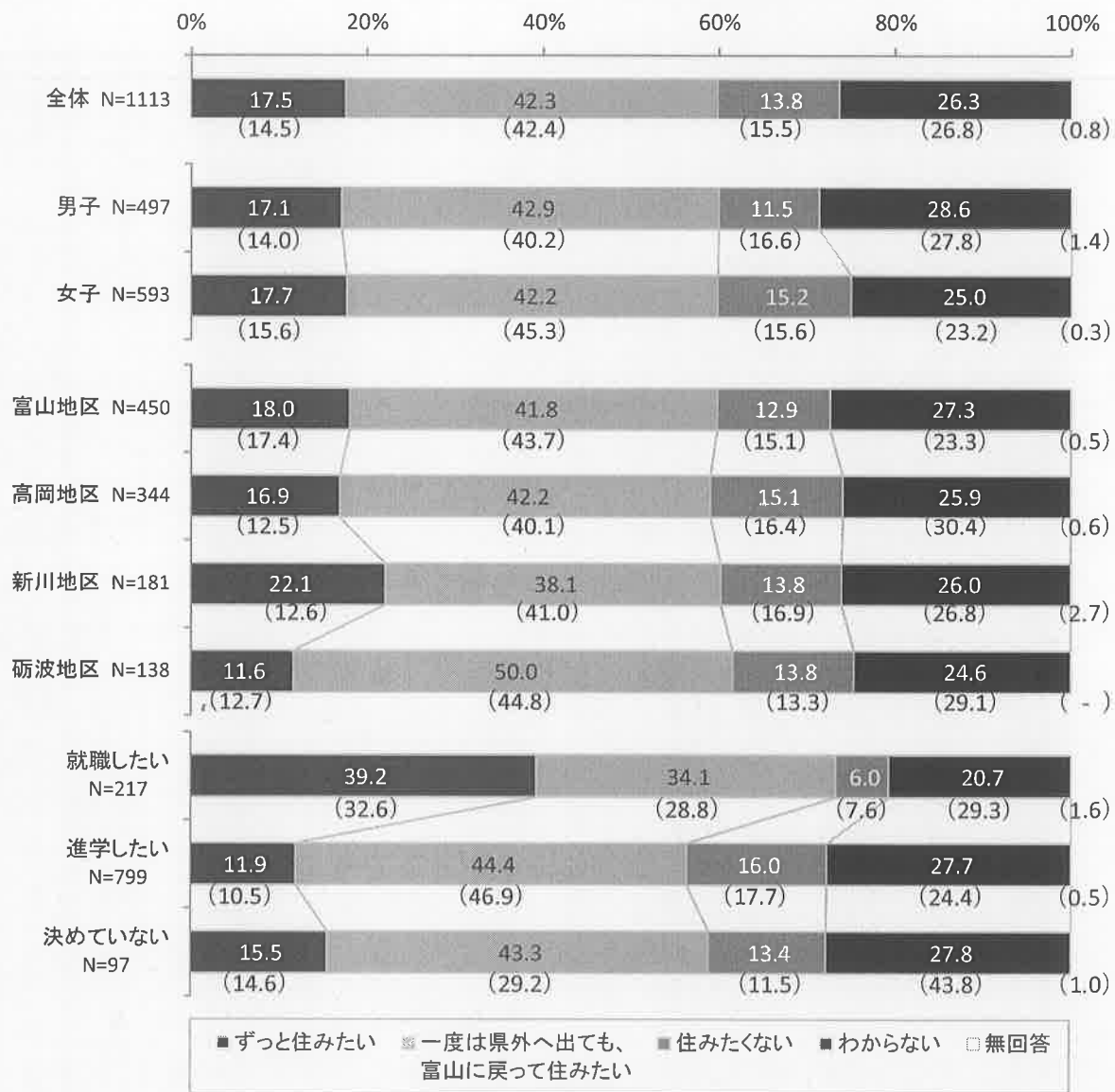
##### ③ 希望進路別にみると・・・就職希望者は定住意識が高い

希望する進路別に定住意識をみると、「ずっと住みたい」(就職したい 39.2%、進学したい 11.9%)「一度は県外へ出ても、富山に戻って住みたい」(同 34.1%、44.4%)を合わせると、就職希望者では73.3%を占め、進学希望者では56.3%である。

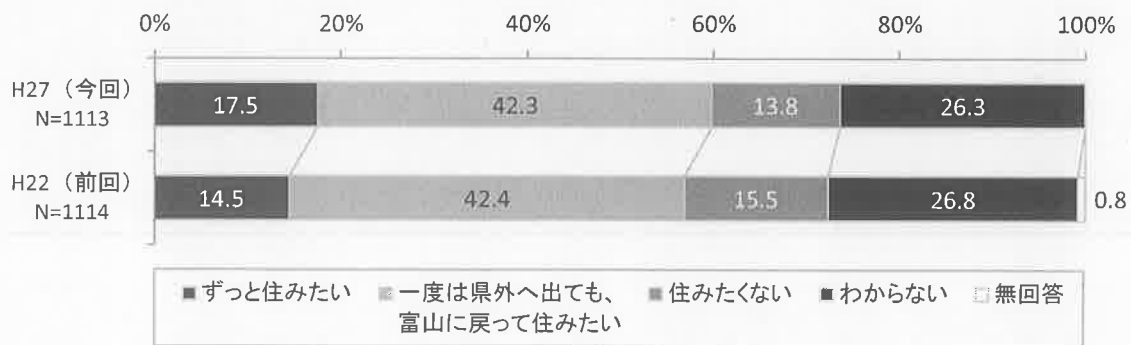
#### (3) 前回調査との比較 (図表 I-3-2)・・・地元への定住意識は高く

前回調査と比較すると、富山に住みたい(「ずっと住みたい」「一度は県外へ出ても、富山に戻って住みたい」と回答した人が2.9ポイント増加(前回56.9%)、「住みたくない」と回答した人が1.7ポイント減少していることから、高校生の富山への定住意識がわずかながらも高まっていることがうかがえる。

図表 I - 3 - 1 地元への定住意識〈男女別、地区別、希望進路別、S A〉



図表 I - 3 - 2 地元への定住意識〈前回比較〉



#### 4. 定住しない理由

問4 前問で「住みたくない」と回答された方にお聞きします。

あなたが住みたくないと答えられた理由を、次の中から3つ選んでその番号に○印をつけて下さい。

##### (1) 全体の傾向（図表 I-4-1）・・・「遊ぶ場」「買い物場」の不足

前問で、“住みたくない”と答えた人の理由は、「魅力あるイベント・コンサートや遊ぶ場などが少ないから」(61.7%)が最も高く、次いで「都会に興味があるから」(51.3%)「買い物などが不便だから」(37.7%)「親と別れて住みたいから」(30.5%)の順となっており、都会的な楽しみや利便性が少ないことが中心となっている。

##### (2) 回答者の属性別の特徴

###### ① 男女別にみると（図表 I-4-1）・・・男女ともに「遊ぶ場」を希望

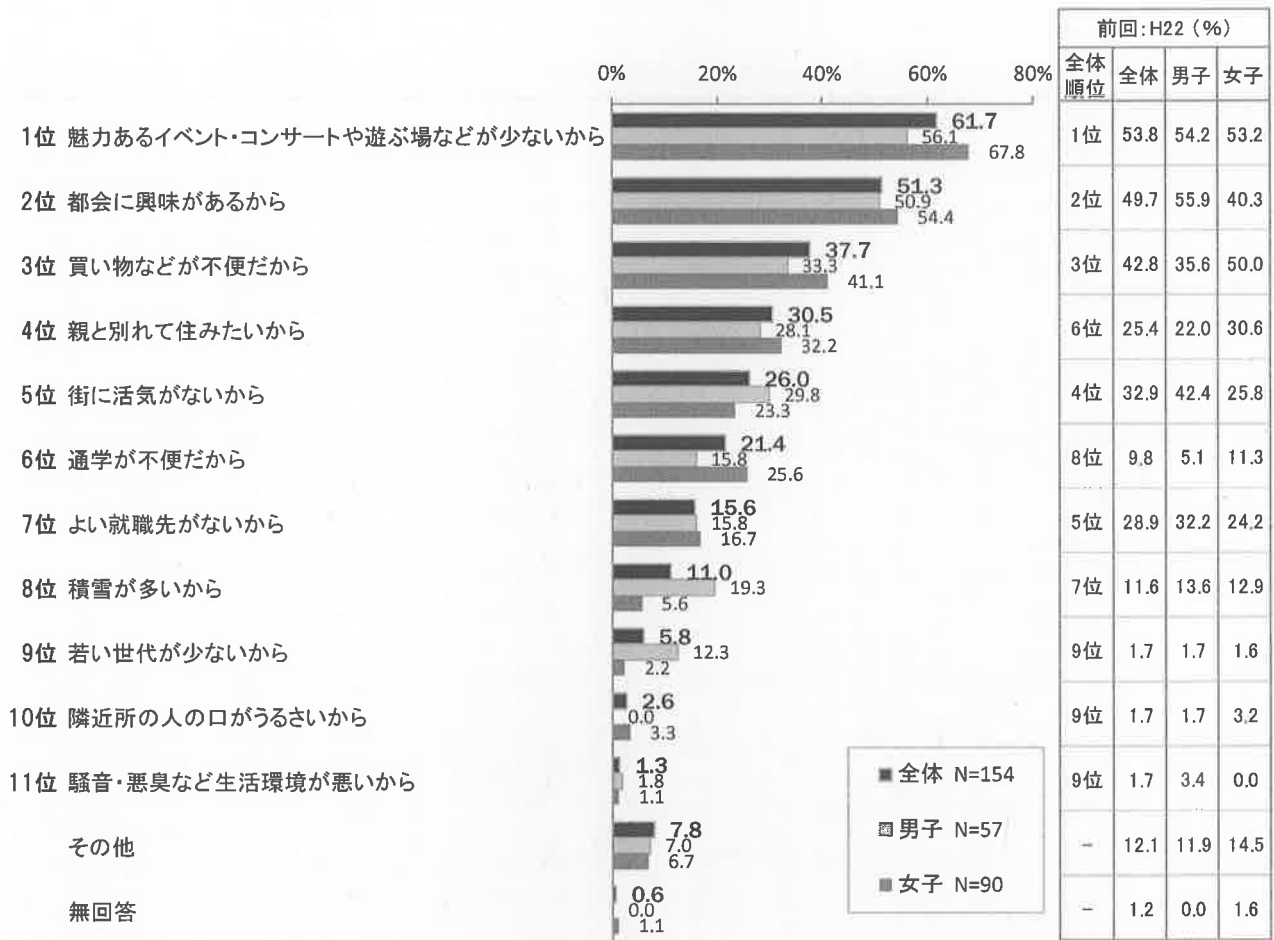
男女別に“住みたくない”理由をみると、男子では「魅力あるイベント・コンサートや遊ぶ場などが少ないから」(56.1%)「都会に興味があるから」(50.9%)「買い物などが不便だから」(33.3%)、女子も同じく「魅力あるイベント・コンサートや遊ぶ場などが少ないから」(67.8%)「都会に興味があるから」(54.4%)「買い物などが不便だから」(41.1%)の順となっている。

なお、「積雪が多いから」(男子 19.3%、女子 5.6%)「魅力あるイベント・コンサートや遊ぶ場などが少ないから」(同 56.1%、67.8%)「若い世代が少ないから」(同 12.3%、2.2%)で男女差が大きい。

###### ② 学年別にみると（図表 I-4-2）・・・3年生は「親と別れて住みたい」

いずれの学年においても、1位および2位の項目は全体と変わらず、「魅力あるイベント・コンサートや遊ぶ場などが少ないから」(1年生 66.7%、2年生 60.3%、3年生 58.3%)「都会に興味があるから」(同 54.2%、53.4%、45.8%)となっているものの、3年生は1、2年生に比べて比較的割合が低い。また3年生では「親と別れて住みたいから」(同 22.9%、29.3%、39.6%)が他学年より高い。

図表 I - 4 - 1 定住しない理由〈男女別、MA : 3〉



図表 I - 4 - 2 定住しない理由〈学年別〉

%	魅力あるイベント・コンサートや遊ぶ場などが少ないから	都会に興味があるから	買い物などが不便だから	親と別れて住みたいから	街に活気がないから	通学が不便だから	よい就職先がないから
全体 N=154	61.7	51.3	37.7	30.5	26	21.4	15.6
1年生 N=48	66.7	54.2	39.6	22.9	20.8	22.9	20.8
2年生 N=58	60.3	53.4	36.2	29.3	27.6	22.4	12.1
3年生 N=48	58.3	45.8	37.5	39.6	29.2	18.8	14.6

%	積雪が多いから	若い世代が少ないから	隣近所の人のがうるさいから	騒音・悪臭など生活環境が悪いから	その他	無回答
全体 N=154	11	5.8	2.6	1.3	7.8	0.6
1年生 N=48	10.4	4.2	4.2	2.1	6.3	-
2年生 N=58	13.8	8.6	3.4	-	8.6	-
3年生 N=48	8.3	4.2	-	2.1	8.3	2.1

## 5. 進学・就職の意向

問5 進学・就職に対するあなたの考えをお聞かせ下さい。

(1) あなたは、高校を卒業したら就職したいですか。進学したいですか。  
次の中から、あなたの気持ちに近いものを1つ選んでその番号に○印をつけて下さい。

### (1) 全体の傾向 (図表 I-5-1) . . . 「進学」希望が7割以上

卒業後の進路については、「進学したい」生徒は 71.8%と極めて高く、「就職したい」生徒 19.5%の3倍以上である。「決めていない」とした人は、8.7%にとどまる。

前回調査と比較してみると、就職希望者がやや増加し、進学希望者の若干の減少がみられる。

### (2) 回答者の属性別特徴 (図表 I-5-1)

#### ① 男女別にみると . . . 「就職」は男子が、「進学」は女子が高い

男子では「就職したい」(22.1%)「進学したい」(69.4%)であるのに対し、女子では「就職したい」(17.5%)「進学したい」(73.7%)と、女子の方が進学志向が強い。

#### ② 学年別にみると . . . 「進学」が高い3年生

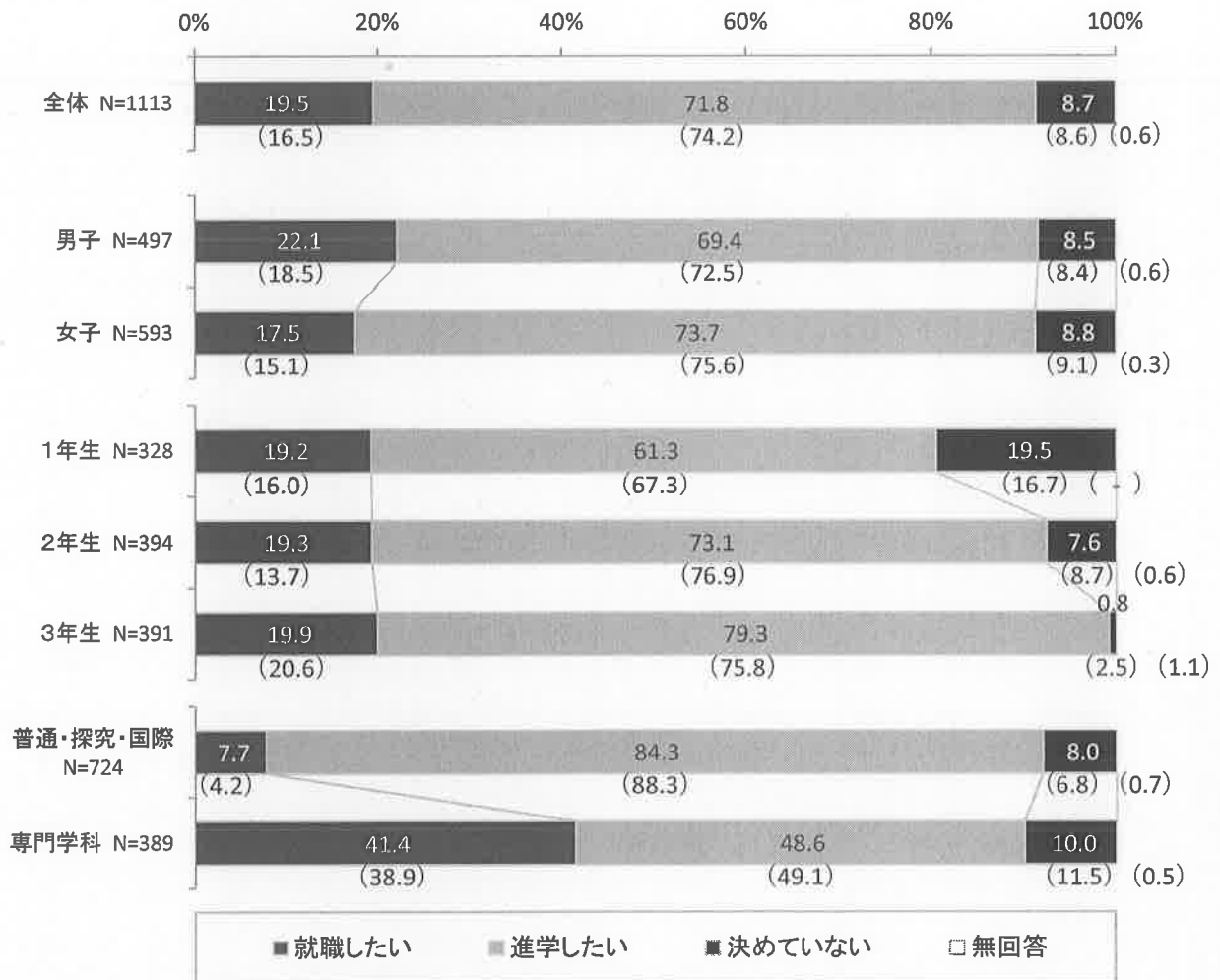
進学希望者は、1年生では 61.3%、2年生では 73.1%、3年生では 79.3%を占めている。1年生では2割弱みられる、進路を「決めていない」人は、3年生では 0.8%にすぎない。

#### ③ 学科別にみると . . . 普通科・探究科学科・国際科で「進学希望者」が8割以上

普通科・探究科学科・国際科における進学希望者の割合は、84.3%であり、専門学科の進学希望者 48.6%を大きく上回っている。一方、就職希望者の割合は、普通科・探究科学科・国際科 7.7%、専門学科 41.4%である。



図表 I - 5 - 1 進学・就職に対する考え〈男女別、学年別、学科別、SA〉



(2) 就職したいと回答された方にお聞きします。

あなたの現在の気持ちとして、就職先は県内を希望されますか。それとも県外を希望されますか。

次の中から、あなたの気持ちに近いものを1つ選んでその番号に○印をつけて下さい。

(1) 全体の傾向 (図表 I-5-2)・・・県内就職希望者が多い

就職希望者の就職先は、69.6%が「県内」であり、「どちらでもよい」(17.5%)「県外」(5.5%)を大きく上回っている。

前回調査との比較では「県内」の割合が高くなっている。

(2) 回答者の属性別特徴 (図表 I-5-2)

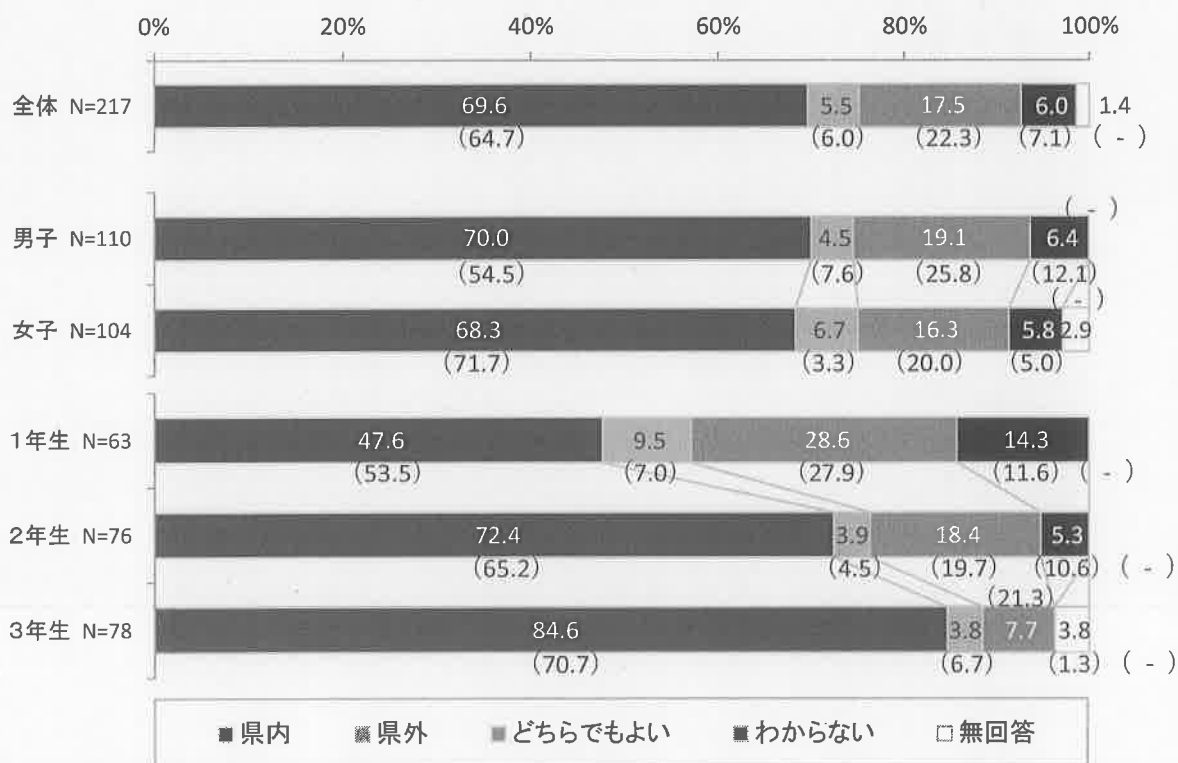
① 男女別にみると・・・男女ともに約7割が「県内」

男子は「県内」(70.0%)「県外」(4.5%)に対し、女子は「県内」(68.3%)「県外」(6.7%)となっている。女子の方が若干「県外」志向が強い。

② 学年別にみると・・・3年生の8割以上が「県内」

就職希望者の就職先として「県内」と回答する者は、1年生 47.6%に対し、3年生では 84.6%と、大きく上回っている。

図表 I-5-2 希望する就職先 (男女別、学年別、SA)



(3) 進学したいと回答された方にお聞きします。

あなたの現在の気持ちとして、進学先は県内を希望されますか。それとも県外を希望されますか。

次の中から、あなたの気持ちに近いものを1つ選んでその番号に○印をつけて下さい。

(1) 全体の傾向 (図表 I-5-3)・・・県外進学希望者が多い

進学希望者のうち、「県内」の希望者は 22.4%、「県外」希望者は 54.2%である。

前回調査と同様に、「県外」への進学希望者が過半数を占めている。

(2) 回答者の属性別特徴 (図表 I-5-3)

① 男女別にみると・・・女子の約 1/4 は「県内」

進学を希望する人の進学先として、「県内」は男子 19.4%に対し、女子は 24.7%、「県外」は男子 55.1%、女子 53.3%と、女子の方が比較的、県内志向が強い。

② 学年別にみると・・・3年生の6割以上が県外希望

学年が上であるほど、「県外」を希望する人の割合が高い (1年生 42.3%、2年生 54.5%、3年生 61.6%)。一方、「県内」を希望する人は、2年生では2割に満たないが、3年生では1/4を超えている (同 22.4%、18.8%、25.8%)。学年が上がるにつれて「どちらでもよい」と回答した人の割合は減っている。

③ 学科別にみると・・・普通科、探究科学科、国際科で「県外」志向が強い

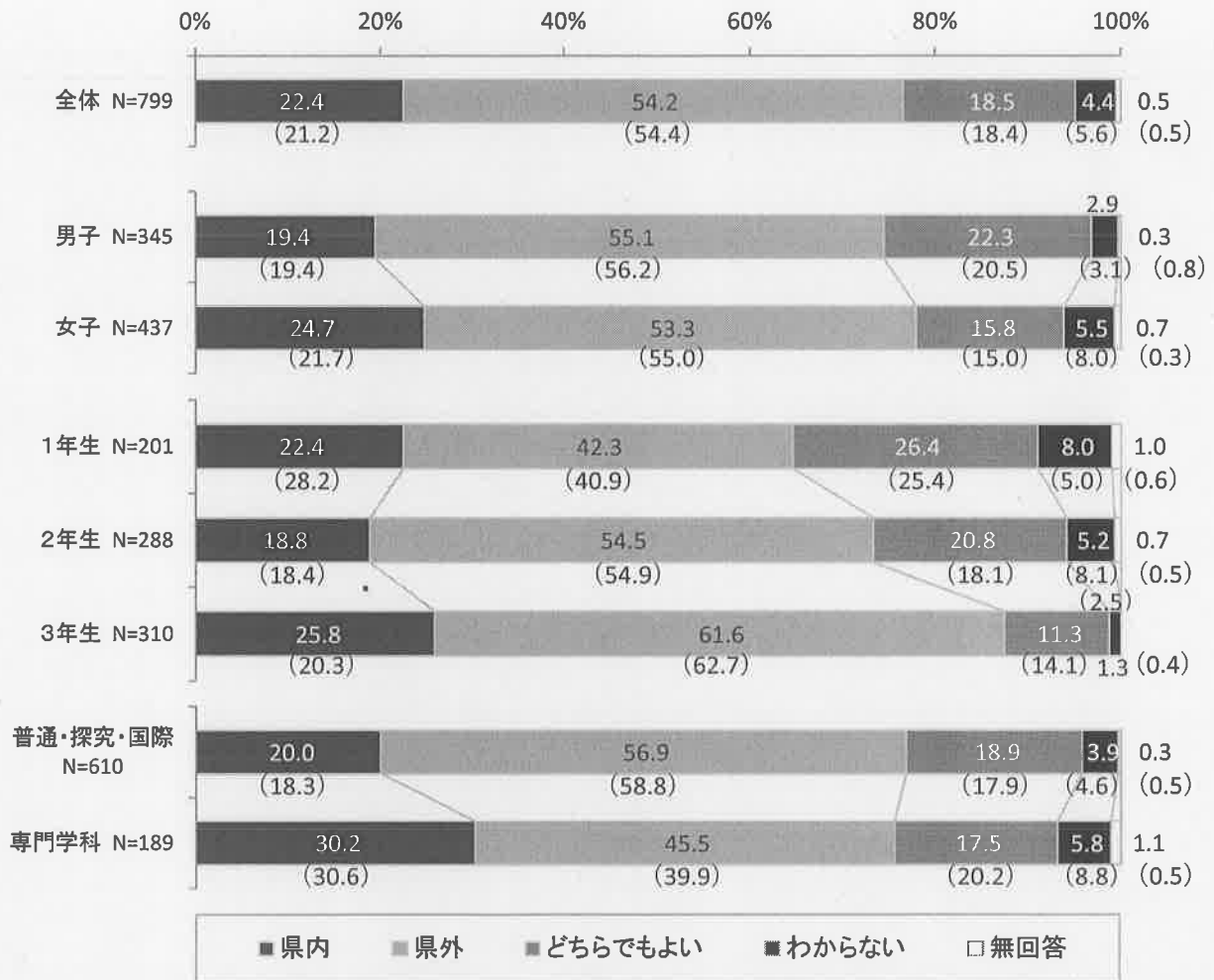
普通科・探究科学科・国際科 (県内 20.0%、県外 56.9%)の方が、専門学科 (同 30.2%、45.5%)より県外志向が強い。

(3) 定住意識による区分 (図表 I-5-4)

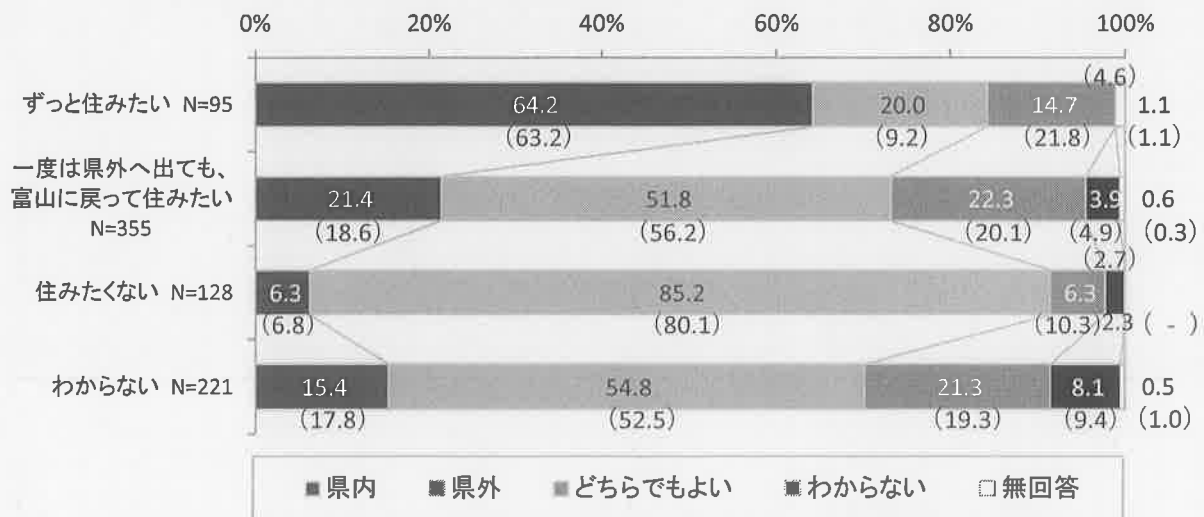
将来も地元〔ずっと住みたい〕と考えている人は、進学先も 64.2%が「県内」を希望している。

また〔一度は県外へ出て、富山に戻って住みたい〕と考えている人のうち、「県内」への進学を希望する人は 21.4%に過ぎず、「県外」希望者は 51.8%である。

図表 I - 5 - 3 希望する進学先〈男女別、学年別、学科別、S A〉



図表 I - 5 - 4 希望する進学先〈定住意識別〉



(4) 進学したいと回答された方にお聞きします。

あなたは現在の気持ちとして、大学などを卒業された後、就職するときは県内を希望されますか。それとも県外を希望されますか。

次の中から、あなたの気持ちに近いものを1つ選んでその番号に○印をつけて下さい。

(1) 全体の傾向 (図表 I-5-5)・・・「県内」志望がやや多い

大学等を卒業後の就職先として、「県内」を希望する人は 29.4%、「県外」を希望する人は 23.4%と、県内を希望する人がやや多い。ただし、「どちらでもよい」(32.0%)「わからない」(14.1%)と、現時点では判断できない人が半数近くいる。

前回調査と比較してみても、ほとんど変動はみられない。

(2) 回答者の属性別特徴 (図表 I-5-5)

① 男女別にみると・・・男子は「どちらでもよい」が多い

「県内」を希望する割合も「県外」を希望する割合も、男子(県内 27.0%、県外 18.8%)が女子(同 31.4%、27.5%)を下回っている。一方、「どちらでもよい」と考える割合(男子 38.0%、女子 27.0%)は、男子が女子を大きく上回っている。

② 学年別にみると・・・3年生の3割強が「県内」、1/4以上が「県外」

学年が上がるにつれ、「どちらでもよい」とする人の割合が小さくなる傾向にある。一方、「県内」を希望する人の割合(1年生 28.4%、2年生 29.2%、3年生 30.3%)及び「県外」を希望する人の割合(同 20.4%、23.3%、25.5%)は、3年生が最も高くなっている。

③ 学科別にみると・・・専門学科は県内志向

普通科・探究科学科・国際科(県内 27.4%、県外 24.4%)よりも、専門学科(同 36.0%、20.1%)の県内志向が強い。

(3) 希望進路による区分 (図表 I-5-5、I-5-6)

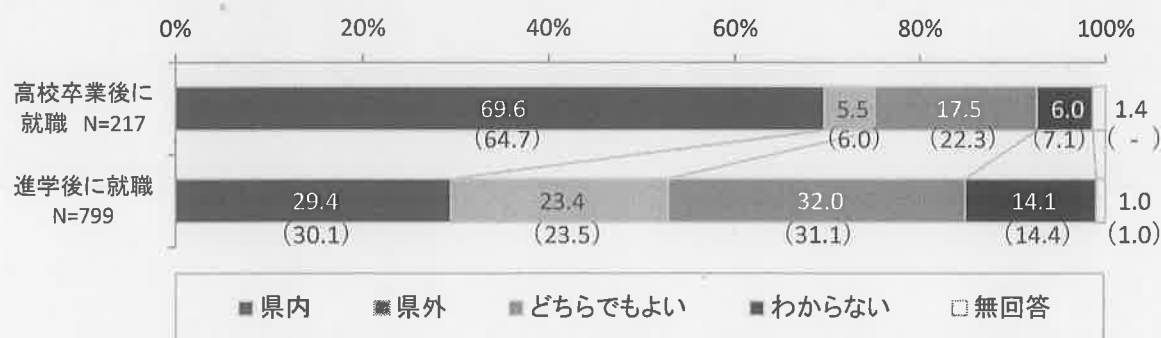
県内進学希望者のうち、55.9%は県内での就職を希望しており、県外進学希望者の 37.0%は県外での就職を希望している。Uターン志向は、県外への進学希望者のうちの 20.6%となっている。

進学希望者の大学等卒業後の就職先は「どちらでもよい」(32.0%)「県内」(29.4%)「県外」(23.4%)の順となっている。これを高校卒業後就職希望者でみると、「県内」(69.6%)「どちらでもよい」(17.5%)「県外」(5.5%)の順となっており、高校卒業後就職希望者の県内志向の強さがうかがえる。

図表 I - 5 - 5 進学先卒業後に希望する就職先  
 〈男女別、学年別、学科別、進学希望別、S A〉



図表 I - 5 - 6 進路希望別にみた希望就職先



## 6. 生活観

問6 あなたは、将来、どのようなことを大切にして生活したいと思いますか。

次の中から、あなたの考え方に近いものを2つまで選んでその番号に○印をつけて下さい。

### (1) 全体の傾向 (図表 I-6-1) … 身近な人とのふれあいを大事にする

「家族や友人など身近な人とのふれあいを大事にする」(65.2%)が他の項目を大きく上回って第1位となり、次いで「趣味やスポーツを楽しむ」(31.4%)「自分の好きなように生活する」(31.1%)「経済的に豊かになる」(24.1%)となっている。このことから将来の生活観としては、家族や友人とのふれあいや、生きがい・自由といった精神的な充実感を求める傾向がみられる。

前回調査との比較では、2位と3位の項目に変動があったものの、全体の傾向に大きな変化はみられない。

### (2) 回答者の属性別特徴

#### ① 男女別で見ると (図表 I-6-1)

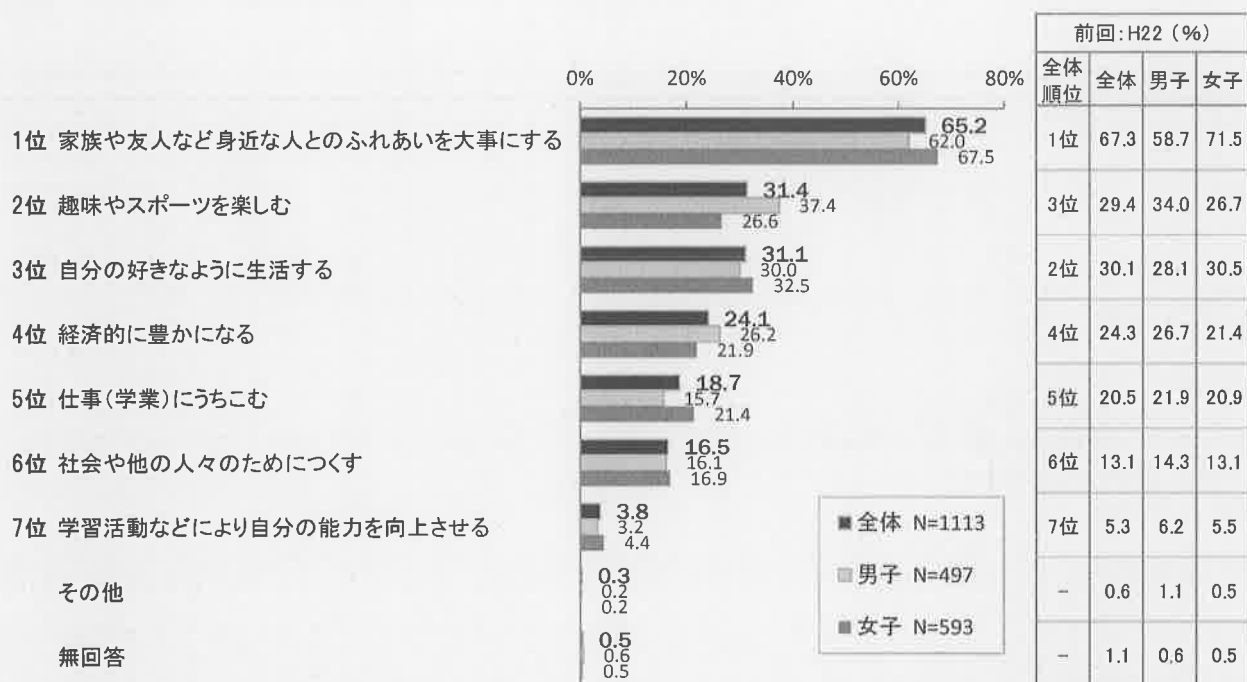
… 女子は「ふれあい」「仕事(学業)」、男子は「趣味やスポーツ」

男女間の違いが見られるのは、「家族や友人など身近な人とのふれあいを大事にする」(男子 62.0%、女子 67.5%)「趣味やスポーツを楽しむ」(同 37.4%、26.6%)「仕事(学業)にうちこむ」(同 15.7%、21.4%)などである。女子は「家庭」や「仕事」といった“社会生活”を、一方、男子は個人的な“娯楽”を中心として考えていることがうかがわれる。

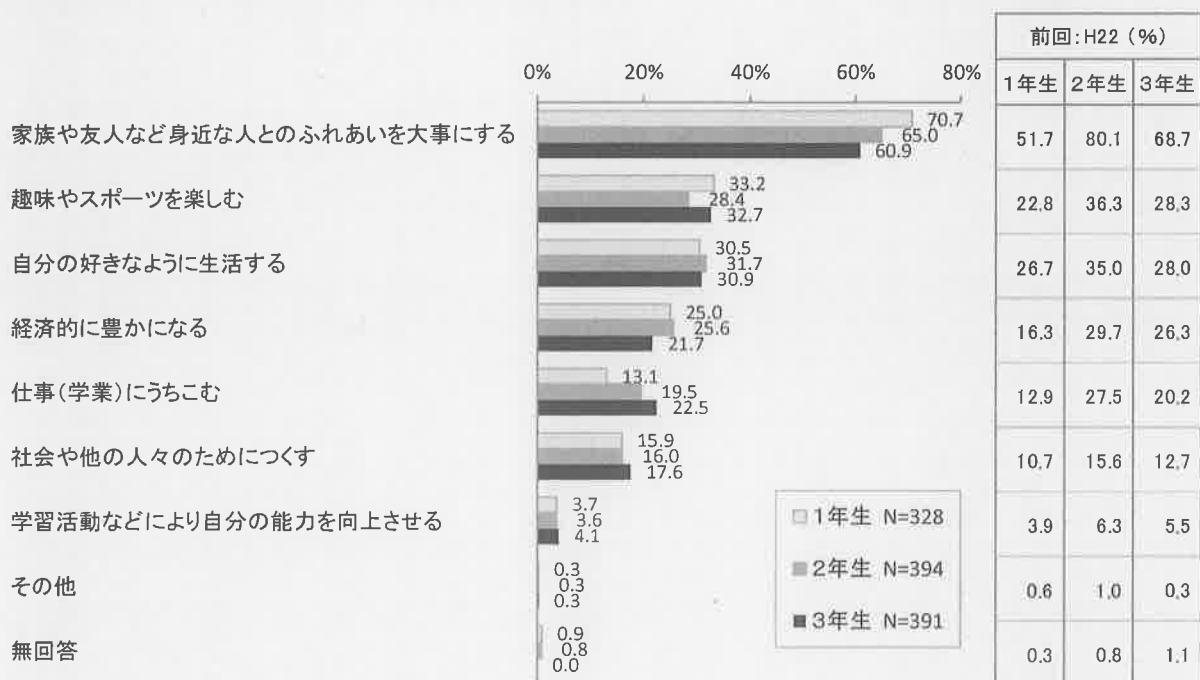
#### ② 学年別にみると (図表 I-6-2) … 各学年とも「ふれあい」

いずれの学年においても、「家族や友人など身近な人とのふれあいを大事にする」(1年生 70.7%、2年生 65.0%、3年生 60.9%)の割合が最も高い。また、「仕事(学業)にうちこむ」(同 13.1%、19.5%、22.5%)の割合は、上の学年であるほど高い。

図表 I - 6 - 1 将来大切にしたいこと〈男女別、MA : 2〉



図表 I - 6 - 2 将来大切にしたいこと〈学年別〉





## 7. 結婚に関するイメージ

問7 あなたは、結婚についてどのようなイメージを持っていますか。

次の中から、あなたの気持ちに近いものを2つまで選んでその番号に○印をつけて下さい。

### (1) 全体の傾向 (図表 I-7-2)・・・肯定的なイメージが大きい

「子どもを持ち、家庭を築く喜びがある」(67.8%)や「好きな人とずっと一緒に暮らせる」(44.7%)といった肯定的なイメージが高い割合を占めており、次いで「家事や育児が大変」(26.6%)、「責任や義務が生じてきて大変」(15.5%)といった、結婚生活に伴って生じる様々な負担や制約などのイメージが続いている。

前回とは、順位・割合ともに大きな変動はみられない。

### (2) 回答者の属性別特徴

#### ① 男女別にみると (図表 I-7-2)・・・女子はあこがれと、家事・育児の負担を心配

男女ともに「子どもを持ち、家庭を築く喜びがある」(男子 65.2%、女子 70.0%)への回答割合が最も高い。一方、男女間で差が大きい項目についてみると、「家事や育児が大変」(同 15.5%、36.9%)では女子が高く、「好きな人とずっと一緒に暮らせる」(同 50.5%、38.8%)では男子からの回答割合が高い。

#### ② 学年別にみると (図表 I-7-1)・・・顕著な差は無い

学年別には顕著な差は見られない。全体における回答割合をやや上回っている項目についてみると、1年生では「家事や育児が大変」(1年生 30.5%、2年生 24.9%、3年生 25.1%)、2年生では「好きな人とずっと一緒に暮らせる」(同 43.3%、48.5%、42.2%)、3年生では「責任や義務が生じてきて大変」(同 14.6%、14.0%、17.9%)の回答割合が高い。

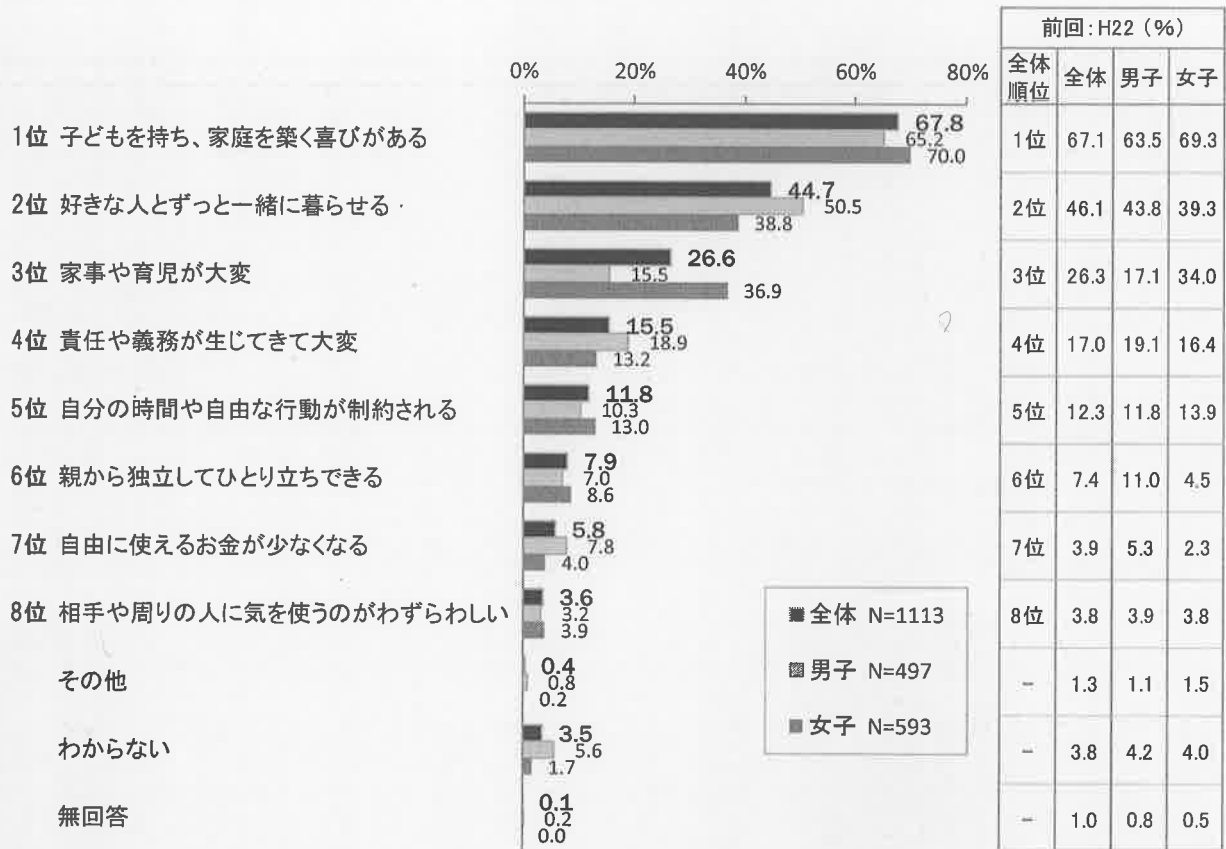
### (3) 進路希望による区分 (図表 I-7-3)

希望する進路によって回答割合の差が大きい項目についてみると、就職希望者では「好きな人とずっと一緒に暮らせる」(就職 50.2%、進学 42.6%)が進学者よりも高く、進学希望者では「責任や義務が生じてきて大変」(同 10.1%、17.3%)が就職希望者よりも高い。

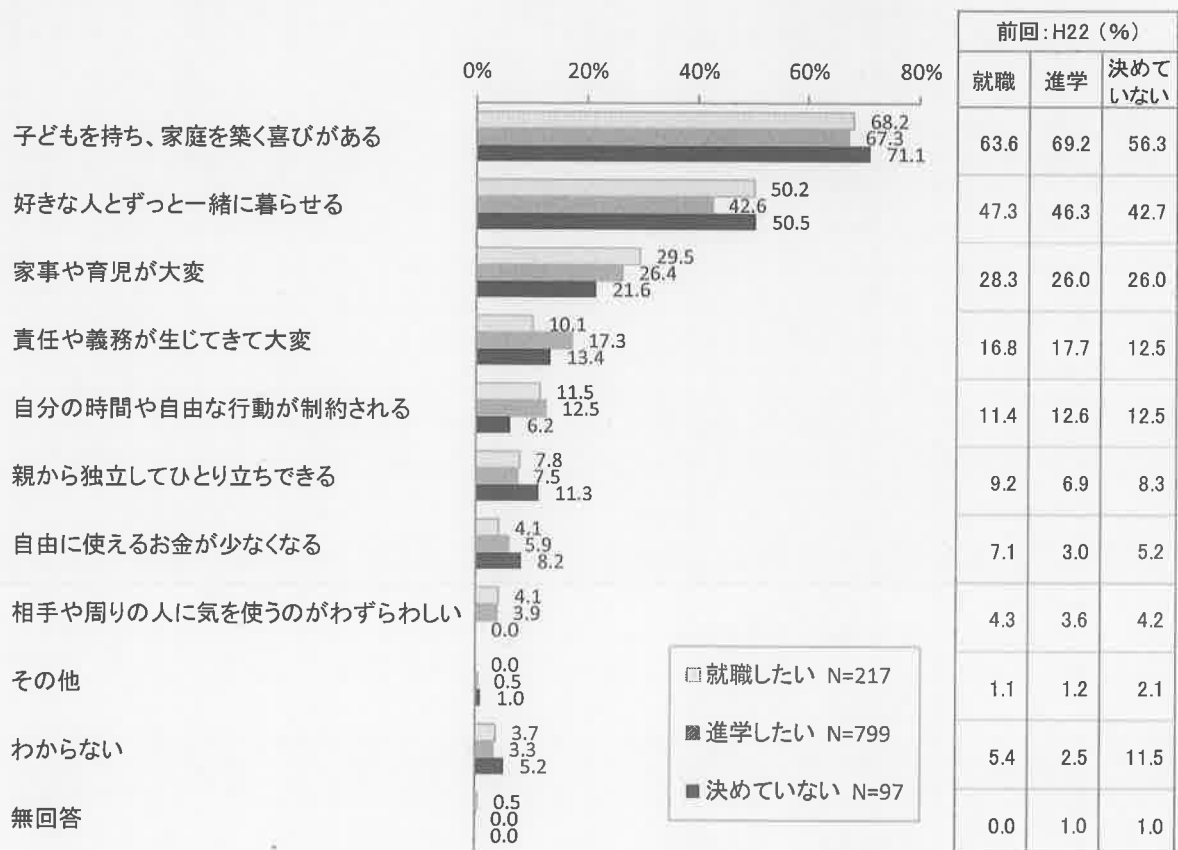
図表 I-7-1 結婚に関するイメージ〈全体上位5項目：学年別〉

%	全体 N=1113	1年生 N=328	2年生 N=394	3年生 N=391
子どもを持ち、家庭を築く喜びがある	67.8	66.8	68.5	68.0
好きな人とずっと一緒に暮らせる	44.7	43.3	48.5	42.2
家事や育児が大変	26.6	30.5	24.9	25.1
責任や義務が生じてきて大変	15.5	14.6	14.0	17.9
自分の時間や自由な行動が制約される	11.8	10.4	12.7	12.0

図表 I - 7 - 2 結婚に関するイメージ〈男女別、MA : 2〉



図表 I - 7 - 3 結婚に関するイメージ〈進路希望別〉



## 8. 子どもについての考え

問8 あなたは、子どもを持つことについてどう思いますか。

次の中から、あなたの気持ちに近いものを2つまで選んでその番号に○印をつけて下さい。

### (1) 全体の傾向 (図表 I-8-1) …… 肯定的なイメージが大きい

「家族の絆や幸福感を持てる」(52.3%)「子どもはかわいいと思う」(42.9%)が他と比べて割合が高く、続く「子育てをとおして人間的に成長できる」(35.1%)とともに、肯定的なイメージがうかがえる。

前回から大きな変化はみられないが、「家族の絆や幸福感を持てる」では4.4ポイント増と、比較的差が大きい。

### (2) 回答者の属性別特徴

#### ① 男女別にみると (図表 I-8-1)

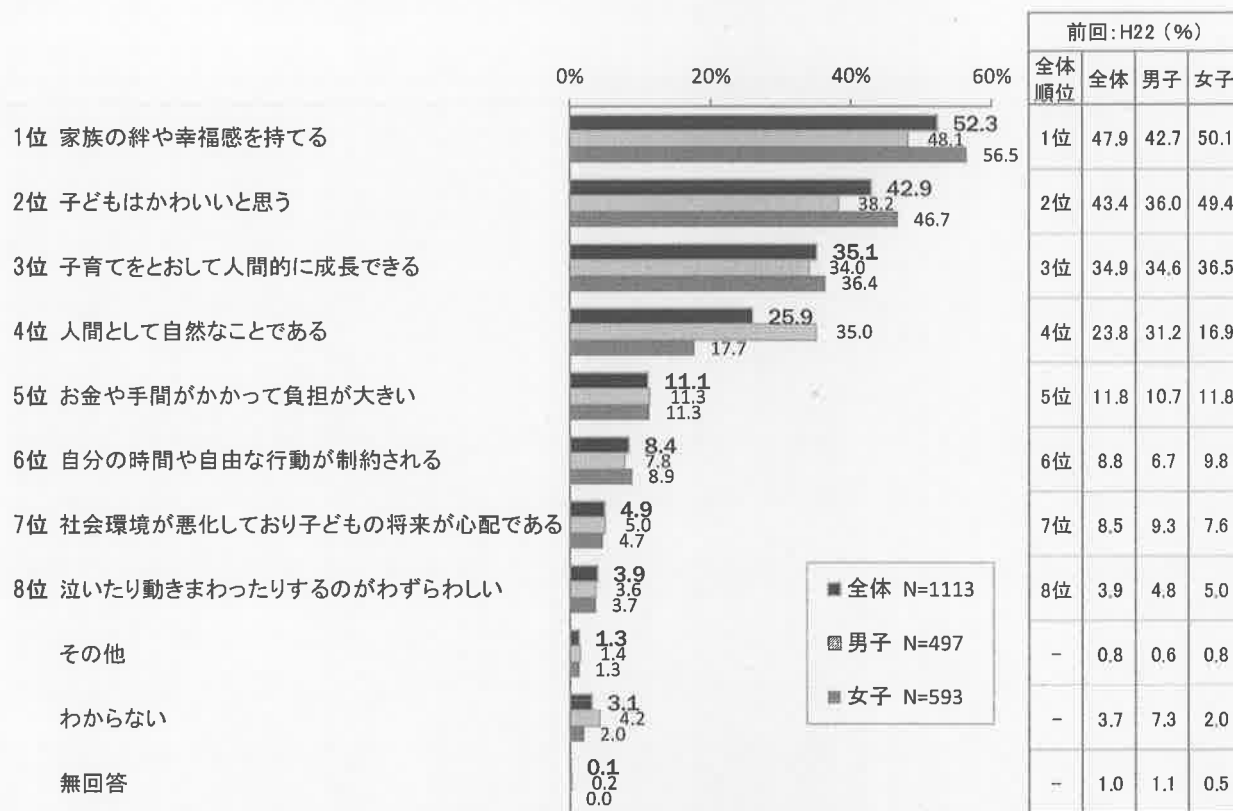
……女子は「幸福感」「かわいい」、男子は「自然なこと」

男女間で差が大きい項目についてみると、「家族の絆や幸福感を持てる」(男子48.1%、女子56.5%)「子どもはかわいいと思う」(同38.2%、46.7%)は男子に比べて女子の回答割合が高く、「人間として自然なことである」(同35.0%、17.7%)は男子の割合が高い。

#### ② 学年別にみると (図表 I-8-2) …… 学年が高いほど「幸福感」に期待

学年別には顕著な差は見られないが、「家族の絆や幸福感を持てる」(1年生49.1%、2年生53.3%、3年生54.0%)とする割合は、上の学年であるほど高い。

図表 I - 8 - 1 子どもを持つことについての考え〈男女別、MA : 2〉



図表 I - 8 - 2 子どもを持つことについての考え〈全体上位 5 項目 : 学年別〉

%	全体 N=1113	1年生 N=328	2年生 N=394	3年生 N=391
家族の絆や幸福感を持てる	52.3	49.1	53.3	54.0
子どもはかわいいと思う	42.9	43.6	43.9	41.4
子育てをとおして人間的に成長できる	35.1	37.8	33.2	34.8
人間として自然なことである	25.9	26.5	27.2	24.0
お金や手間がかかって負担が大きい	11.1	11.9	9.9	11.8

## 9. 職業観

問9 あなたの職業観についてお聞かせ下さい。

(1) あなたは、将来就職するときに、仕事に対してどのようなことを求めたいと思いますか。次の中から、あなたの気持ちに当てはまるものをいくつでも選んでその番号に○印をつけて下さい。

### (1) 全体の傾向 (図表 I-9-1) . . . 高い自己実現志向

最も多い回答は「やりがいや達成感」(72.8%)で、次いで「生活のために必要な収入を得ること」(58.4%)「安定した企業で働くこと」(44.3%)「知識・技能を活かすこと」(34.4%)の順となっている。全体として、仕事を自己実現の手段としてとらえる傾向がみられる。

### (2) 回答者の属性別特徴

#### ① 男女別にみると (図表 I-9-1) . . . 男子は「高収入」「地位、出世」

男子は女子よりも「贅沢ができる高い収入を得ること」(男子 27.6%、女子 13.8%)「地位、出世」(同 15.1%、6.1%)で高く、女子は「やりがいや達成感」(同 66.6%、77.9%)「生活のために必要な収入を得ること」(同 54.1%、62.7%)「知識・技能を活かすこと」(同 30.0%、38.1%)などで高い。

#### ② 学年別にみると (図表 I-9-2)

. . . 1年生は「安定」、3年生は「知識・技能」「社会貢献」

学年別にみると、1年生では「安定した企業で働くこと」(1年生 49.4%、2年生 42.4%、3年生 41.9%)が他の学年より高く、3年生では「知識・技能を活かすこと」(同 29.0%、32.5%、40.9%)「社会のために貢献すること」(同 18.0%、20.1%、28.1%)などが他学年より高い。

#### ③ 学科別にみると (図表 I-9-3)

. . . 普通・探究・国際は「高収入」「地位、出世」、専門は「安定」

学科別で差が大きいのは、普通科・探究科学科・国際科では「贅沢ができる高い収入を得ること」(普通科・探究科学科・国際科 22.8%、専門学科 15.9%)が高く、専門学科では「安定した企業で働くこと」(同 39.4%、53.5%)で高い。

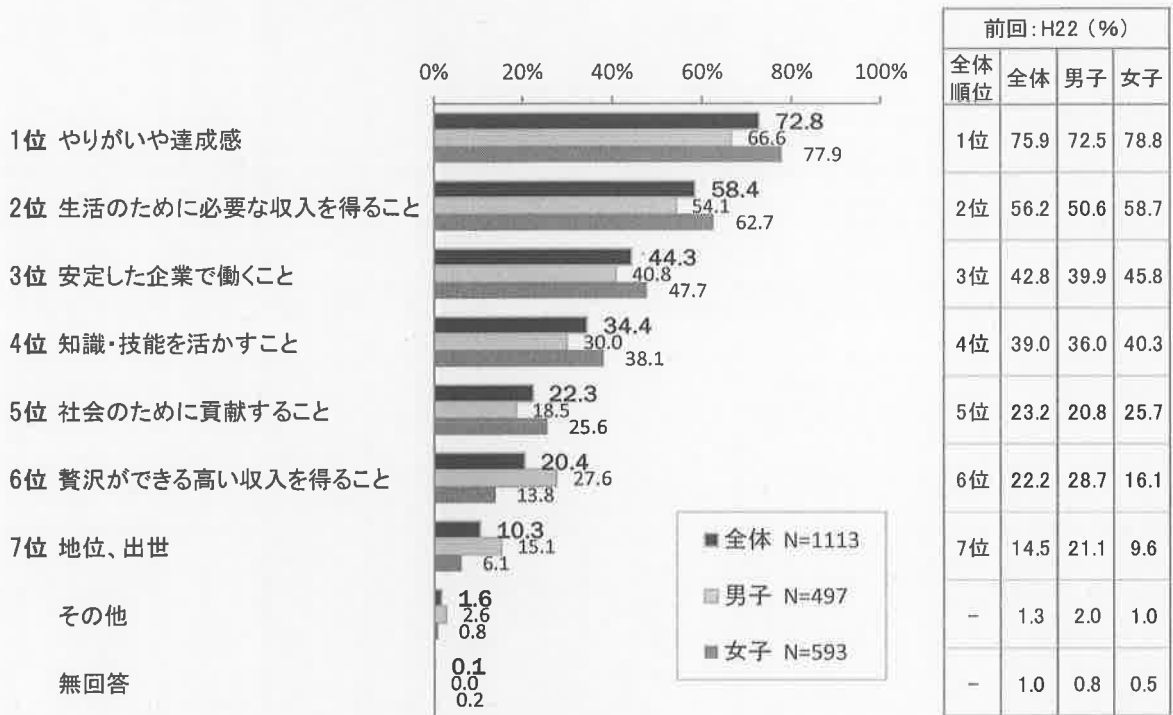
### (3) 希望進路による区分 (図表 I-9-4) . . . 就職は「安定」、進学は「知識・技能」

高校卒業時に就職を希望する人は、「生活のために必要な収入を得ること」(就職したい 63.6%、進学したい 57.1%)「安定した企業で働くこと」(同 54.4%、40.8%)などが高く、進学を希望する人では、「やりがいや達成感」(同 67.3%、74.8%)「知識・技能を活かすこと」(同 26.7%、37.4%)などが高い。高校卒業時に就職を希望する人は、仕事というものを、より現実的に受け止めていることがうかがえる。

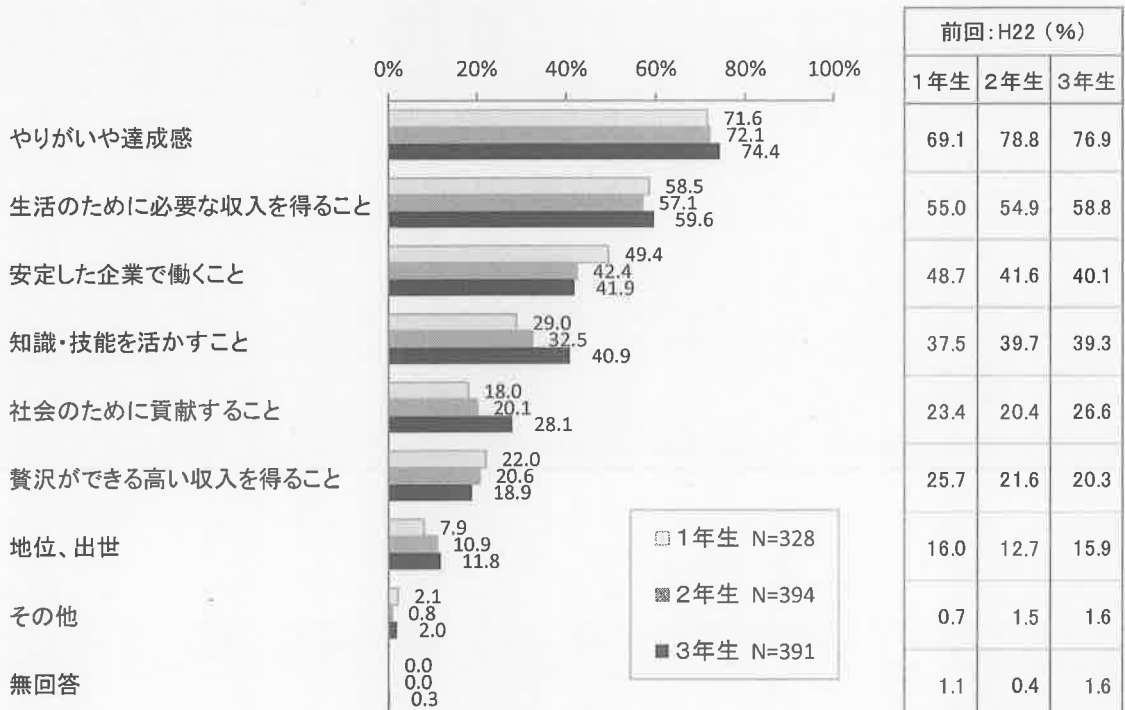
(4) 前回調査との比較 (図表 I-9-1)・・・順位は変わらず

前回調査と比較してみると、全体の順位に変動はなく、回答割合にも大きな変化はみられない。比較的差の大きい項目としては、「知識・技能を活かすこと」が 4.6 ポイント減、「地位、出世」が 4.2 ポイント減となっている。

図表 I-9-1 仕事に対して求めること (男女別、MA)



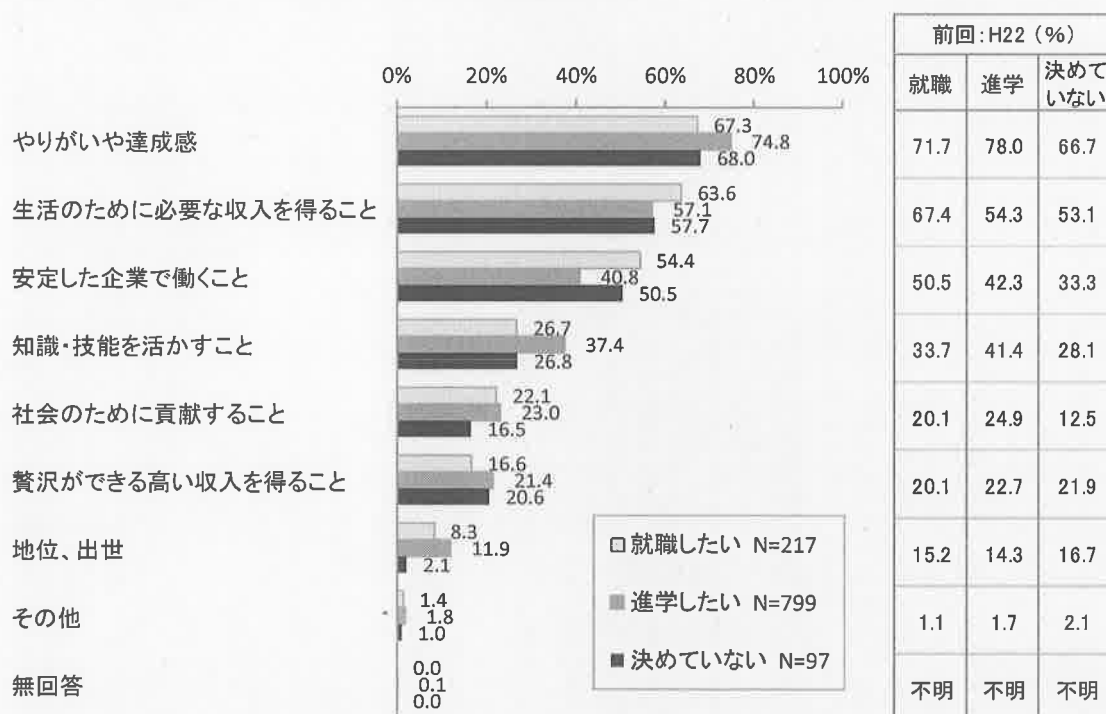
図表 I-9-2 仕事に対して求めること (学年別)



図表 I - 9 - 3 仕事に対して求めること〈学科別〉

%	やりがいや達成感	生活のために必要な収入を得ること	安定した企業で働くこと	知識・技能を活かすこと	社会のために貢献すること	贅沢ができる高い収入を得ること	地位、出世	その他	無回答
普通・探究・国際 N=724	71.7	57.9	39.4	31.5	20.3	22.8	12.0	1.4	0.1
専門学科 N=389	74.8	59.4	53.5	39.8	26.0	15.9	7.2	2.1	0.0

図表 I - 9 - 4 仕事に対して求めること〈希望進路別〉



(2) 将来、就職したいと考えている「業種」はどのようなものですか。

次の中から、あなたの気持ちに1番近いものを1つ選んでその番号に○印をつけて下さい。

(1) 全体の傾向 (図表 I-9-6) …… トップは「医療・健康」

最も多い回答は「わからない」(17.4%)で、現時点ではまだ具体的な業種までは決められない状況がうかがえる。具体的な業種では、「医療・健康関連サービス業」(13.7%)が高く、次いで「製造業」(9.3%)「公務員」(8.4%)と続いている。

前回調査と比較してみると、「医療・健康関連サービス業」が前回同様1位であり、回答割合にも変動はない。

(2) 回答者の属性別特徴

① 男女別にみると (図表 I-9-7)

……男子は「製造」「公務員」、女子は「医療・健康」「福祉」

男子では「製造業」(男子 14.7%、女子 5.1%)「公務員」(同 10.5%、6.6%)の割合が高く、女子では「医療・健康関連サービス業」(同 6.6%、19.6%)「福祉関連サービス業」(同 2.2%、10.3%)「教育関連サービス業」(同 6.2%、8.1%)の順に高い。

なお、男子の 14.1%が工業科、女子の 5.1%が看護科・福祉科の生徒である。

② 学年別にみると (図表 I-9-8)

……1、2年生は「医療・健康」、3年生は「製造業」がトップ

1、2年生においては「医療・健康関連サービス業」(1年生 10.4%、2年生 15.2%、3年生 15.1%)を志望する割合が、3年生では「製造業」(同 3.0%、7.1%、16.9%)が最も高い。

また、「教育関連サービス業」(同 6.1%、7.6%、8.2%)「公務員」(同 6.7%、8.1%、10.0%)などは上の学年であるほど高いが、各学年を構成する専門学科には偏りが有る (P2 参照) ため、他項目や他学年との比較には注意を要する。

③ 学科別にみると (図表 I-9-5) …… 専門学科を活かせる業種を希望

普通科・探究科学科・国際科では「医療・健康関連サービス業」(14.8%)「公務員」(10.5%)「教育関連サービス業」(9.3%)の順である。専門学科では、農業科・海洋科では「製造業」(32.4%)、工業科では「建設業」(21.4%)及び「製造業」(40.2%)、看護科・福祉科では「福祉関連サービス業」(43.3%)及び「医療・健康関連サービス業」(33.3%)、総合学科では「医療・健康関連サービス業」(42.5%)の割合が高い。

(3) 希望業種と仕事に求めることの関係 (図表 I-9-9)

建設業を除く全ての業種で「やりがいや達成感」を第1位として挙げている。



(4) 希望進路別の希望業種 (図表 I-9-10)

高校卒業時に就職を希望する人の希望業種は、「製造業」(就職したい 33.6%、進学したい 3.4%)「卸売・小売業・飲食店」(同 9.7%、2.6%)「福祉関連サービス業」(同 7.8%、6.3%)の順である。

一方、進学希望者の希望業種は「医療・健康関連サービス業」(同 1.8%、18.5%)「教育関連サービス業」(同 0.9%、9.8%)「公務員」(同 5.1%、9.8%)の順である。

(5) 希望進路別の希望就職先及び希望業種 (図表 I-9-11、I-9-12)

高校卒業時に就職を希望する人は、全体的に県内での就職を望む傾向にあるが、その中でも「福祉関連サービス業」(県内 100.0%、県外 0.0%)「製造業」(同 94.5%、0.0%)「農林漁業」(同 85.7%、0.0%)などで、県内での就職希望者が県外を大きく上回る。

大学等を卒業後就職する人は、「教育関連サービス業」(同 52.6%、9.0%)「福祉関連サービス業」(同 52.0%、12.0%)などでは県内が、「運輸・通信業」(同 6.3%、56.3%)「専門サービス業」(同 5.6%、50.0%)などでは県外での就職希望者が、それぞれ他方を大きく上回る。

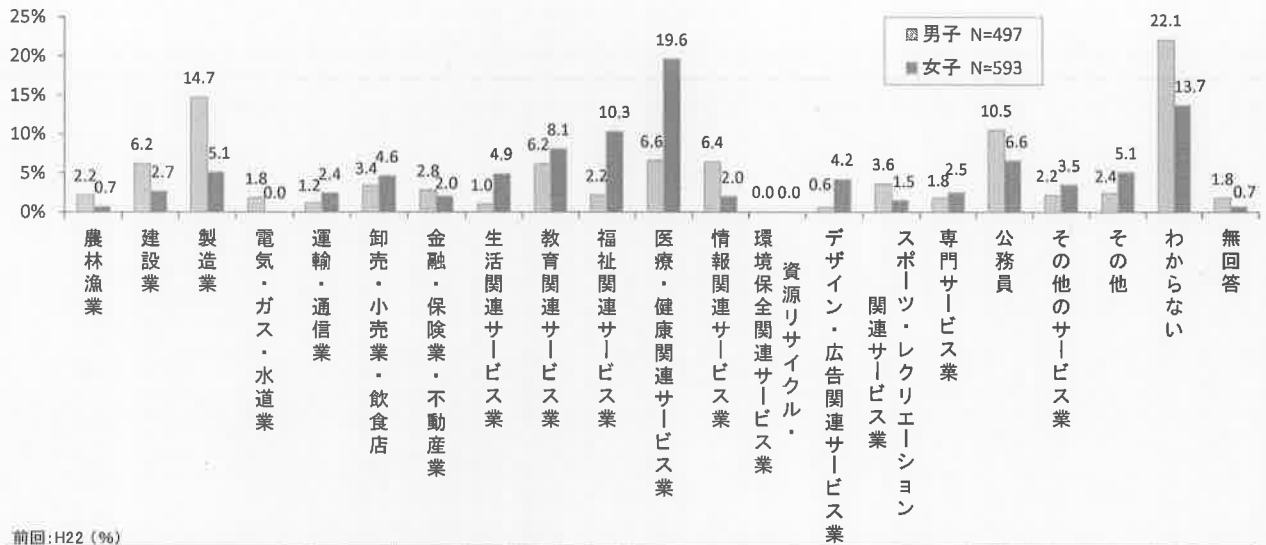
図表 I-9-5 就職したいと考えている業種〈学科別〉

%	全体	学科									
		国 際 探 究 科 学 科	普 通 科 学 科	海 洋 業 科	農 業 科	工 業 科	商 業 科	家 庭 科	福 祉 科	看 護 科	総 合 学 科
合計(人)	1113	724	68	112	40	99	30	40	-	-	-
志望業種											
農林漁業	1.4	1.2	10.3	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	4.3	2.9	1.5	21.4	-	1.0	-	2.5	-	-	
製造業	9.3	3.9	32.4	40.2	5.0	6.1	-	2.5	-	-	
電気・ガス・水道業	0.9	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	
運輸・通信業	1.8	2.2	2.9	0.9	-	-	-	2.5	-	-	
卸売・小売業・飲食店	4.0	2.8	2.9	-	7.5	19.2	-	-	-	-	
金融・保険業・不動産業	2.3	2.9	-	-	7.5	-	-	5.0	-	-	
生活関連サービス業	3.1	2.8	4.4	0.9	-	4.0	13.3	5.0	-	-	
教育関連サービス業	7.4	9.3	1.5	1.8	7.5	7.1	-	5.0	-	-	
福祉関連サービス業	6.6	5.0	8.8	0.9	2.5	16.2	43.3	2.5	-	-	
医療・健康関連サービス業	13.7	14.8	2.9	5.4	2.5	10.1	33.3	42.5	-	-	
情報関連サービス業	4.0	4.4	-	1.8	20.0	-	-	5.0	-	-	
資源リサイクル・環境保全関連サービス業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
デザイン・広告関連サービス業	2.6	3.0	2.9	0.9	2.5	2.0	-	2.5	-	-	
スポーツ・レクリエーション関連サービス業	2.4	2.8	-	4.5	5.0	-	-	-	-	-	
専門サービス業	2.2	2.5	1.5	0.9	5.0	2.0	-	-	-	-	
公務員	8.4	10.5	4.4	3.6	10.0	4.0	-	5.0	-	-	
その他のサービス業	3.1	3.2	1.5	-	2.5	7.1	-	5.0	-	-	
その他	3.8	3.7	7.4	2.7	-	7.1	-	-	-	-	
わからない	17.4	18.9	14.7	14.3	22.5	14.1	10.0	12.5	-	-	
無回答	1.3	1.9	-	-	-	-	-	2.5	-	-	

図表 I - 9 - 6 就職したい業種 (SA)



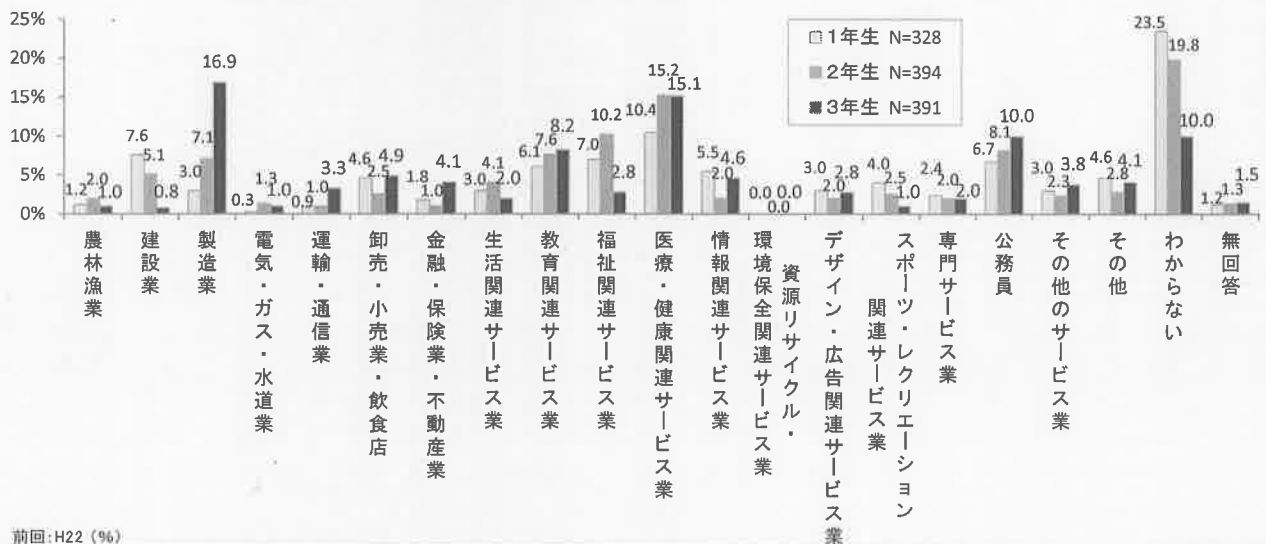
図表 I-9-7 就職したい業種〈男女別〉



前回:H22 (%)

男子	1.7	8.4	12.9	2.5	2.5	2.5	2.2	2.5	7.3	1.1	6.2	6.7	0.6	1.4	4.2	1.4	8.1	1.4	5.1	18.8	2.2
女子	2.0	0.5	3.0	0.3	1.3	5.5	0.8	6.0	9.8	9.3	21.2	1.8	0.0	2.8	0.8	2.5	5.5	4.3	9.6	11.3	1.8

図表 I-9-8 就職したい業種〈学年別〉



前回:H22 (%)

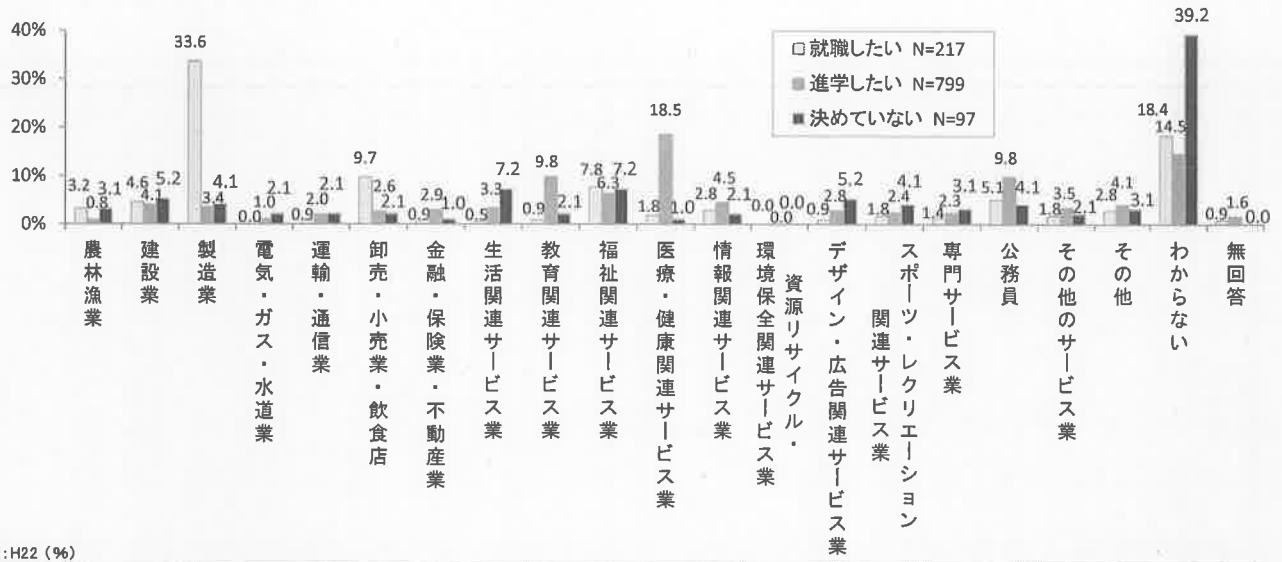
1年生	0.4	8.2	2.2	0.7	1.1	3.7	1.5	5.2	7.8	5.6	8.6	6.7	0.0	3.0	6.7	1.5	8.2	2.2	7.1	19.3	0.4
2年生	1.7	1.2	5.6	1.5	1.9	3.5	1.9	5.2	7.9	7.9	14.3	3.3	0.2	3.7	1.0	2.3	6.2	2.9	7.7	17.9	2.1
3年生	2.7	1.6	14.6	0.8	1.6	7.4	2.2	2.7	8.8	4.1	16.8	3.8	0.8	1.1	0.5	1.6	7.1	2.7	6.3	9.9	2.5

図表 I-9-9 仕事に対して求めること〈希望業種別〉

%	合計 (人)	仕事に対して求めること〈業種別 上位項目〉			
		やりがいや達成感	生活のために必要な収入を得ること	知識・技能を活かすこと	安定した企業で働くこと
農林漁業	16	62.5	62.5	37.5	
建設業	48	70.8	62.5	43.8	
製造業	104	66.3	64.4	59.6	
電気・ガス・水道業	10	70.0	60.0	30.0	安定した企業で働くこと 30.0
運輸・通信業	20	80.0	50.0	45.0	
卸売・小売業・飲食店	44	77.3	63.6	45.5	安定した企業で働くこと 45.5
金融・保険業・不動産業	26	80.8	50.0	46.2	
生活関連サービス業	34	82.4	73.5	41.2	
教育関連サービス業	82	86.6	57.3	41.5	
福祉関連サービス業	74	75.7	60.8	37.8	
医療・健康関連サービス業	153	76.5	60.1	42.5	
情報関連サービス業	44	65.9	52.3	45.5	
資源リサイクル・環境保全関連サービス業					
デザイン・広告関連サービス業	29	93.1	69.0	48.3	安定した企業で働くこと 48.3
スポーツ・レクリエーション関連サービス業	27	66.7	55.6	40.7	
専門サービス業	24	91.7	50.0	37.5	
公務員	93	66.7	58.1	47.3	
その他のサービス業	34	82.4	52.9	47.1	
その他	42	73.8	61.9	42.9	安定した企業で働くこと 42.9
わからない	194	64.9	61.9	50.0	
無回答	15	66.7	53.3	46.7	

1位 2位 3位

図表 I-9-10 就職したい業種〈希望進路別〉



前回:H22 (%)

就職	2.7	7.1	22.3	0.5	2.7	13.0	0.0	3.8	1.6	8.2	1.1	1.6	0.0	1.6	1.1	0.5	6.0	3.3	5.4	16.3	1.1
進学	1.5	2.1	5.3	1.3	1.2	3.1	2.5	4.4	10.0	5.7	17.3	4.8	0.5	2.5	2.5	2.4	7.9	2.2	7.4	13.4	1.9
決めていない	1.0	4.2	1.0	0.0	3.1	4.2	0.0	6.3	5.2	6.3	6.3	4.2	0.0	5.2	2.1	0.0	2.1	6.3	7.3	34.4	1.0

図表 I - 9 - 1 1 高校卒業後に希望する就職先〈希望業種別〉

%	高校卒業後に希望する就職先					
	合計(人)	県内	県外	どちらでもよい	わからない	無回答
全 体	217	69.6	5.5	17.5	6.0	1.4
農林漁業	7	85.7	-	14.3	-	-
建設業	10	70.0	10.0	20.0	-	-
製造業	73	94.5	-	5.5	-	-
電気・ガス・水道業	-	-	-	-	-	-
運輸・通信業	2	100.0	-	-	-	-
卸売・小売業・飲食店	21	52.4	14.3	19.0	14.3	-
金融・保険業・不動産業	2	50.0	-	50.0	-	-
生活関連サービス業	1	100.0	-	-	-	-
教育関連サービス業	2	-	-	100.0	-	-
福祉関連サービス業	17	100.0	-	-	-	-
医療・健康関連サービス業	4	75.0	-	-	-	25.0
情報関連サービス業	6	33.3	33.3	33.3	-	-
資源リサイクル・環境保全関連サービス業	-	-	-	-	-	-
デザイン・広告関連サービス業	2	50.0	50.0	-	-	-
スポーツ・レクリエーション関連サービス業	4	50.0	-	50.0	-	-
専門サービス業	3	66.7	-	33.3	-	-
公務員	11	54.5	9.1	27.3	-	9.1
その他のサービス業	4	-	25.0	75.0	-	-
その他	6	83.3	-	-	16.7	-
わからない	40	37.5	5.0	32.5	22.5	2.5
無回答	2	50.0	50.0	-	-	-

図表 I - 9 - 1 2 大学等卒業後に希望する就職先〈希望業種別〉

%	大学卒業後に希望する就職先					
	合計(人)	県内	県外	どちらでもよい	わからない	無回答
全 体	799	29.4	23.4	32.0	14.1	1.0
農林漁業	6	33.3	33.3	33.3	-	-
建設業	33	30.3	21.2	36.4	12.1	-
製造業	27	33.3	29.6	33.3	3.7	-
電気・ガス・水道業	8	25.0	37.5	25.0	12.5	-
運輸・通信業	16	6.3	56.3	25.0	12.5	-
卸売・小売業・飲食店	21	19.0	47.6	23.8	9.5	-
金融・保険業・不動産業	23	13.0	34.8	43.5	8.7	-
生活関連サービス業	26	11.5	34.6	38.5	11.5	3.8
教育関連サービス業	78	52.6	9.0	25.6	11.5	1.3
福祉関連サービス業	50	52.0	12.0	16.0	16.0	4.0
医療・健康関連サービス業	148	35.1	16.9	33.8	13.5	0.7
情報関連サービス業	36	13.9	30.6	30.6	22.2	2.8
資源リサイクル・環境保全関連サービス業	-	-	-	-	-	-
デザイン・広告関連サービス業	22	13.6	31.8	36.4	18.2	-
スポーツ・レクリエーション関連サービス業	19	31.6	10.5	36.8	21.1	-
専門サービス業	18	5.6	50.0	22.2	22.2	-
公務員	78	38.5	16.7	37.2	7.7	-
その他のサービス業	28	25.0	53.6	14.3	7.1	-
その他	33	6.1	39.4	36.4	15.2	3.0
わからない	116	19.8	15.5	40.5	23.3	0.9
無回答	13	38.5	38.5	15.4	7.7	-

## Ⅱ 富山県の未来に対する意識調査

### 1. 富山県の魅力

問 10 あなたにとって、富山県の魅力は何ですか。

次の中から4つ選んでその番号に○印をつけて下さい。

#### (1) 全体の傾向（図表Ⅱ－1－1）・・・魅力は「空気や水」「自然」「食べ物」

富山県の魅力として上位に挙げられているのは、「空気や水がきれい」（85.1%）「山、川、海等の自然環境に恵まれている」（83.1%）「米や新鮮な魚など、食べ物がおいしい」（82.7%）の順で、自然や食べ物に関するものであり、他の項目を大きく上回っている。

前回調査と比較してみると、「災害や犯罪が少なく安全である」が、前回と順位こそ変わらないものの、東日本大震災（H23）を挟んで30.8ポイントもの増加をみせている。一方、「三大都市圏への交通が便利である」では、北陸新幹線開業（H27.3）の後も2.7ポイント増にとどまっている。

#### (2) 回答者の属性別特徴

##### ① 男女別にみると（図表Ⅱ－1－1）・・・ほとんどかわらない

男女による回答の違いはほとんど見られないものの、「災害や犯罪が少なく安全である」（男子53.9%、女子63.4%）に対しては、女子が男子を10ポイント近く上回っている。

##### ② 学年別にみると（図表Ⅱ－1－2）・・・大きな差はない

学年別にみても、上位3項目への集中はかわらない。

##### ③ 地区別にみると（図表Ⅱ－1－2）・・・ほとんどかわらない

地区別にみた回答の状況も、上位5項目についてはあまり大きな違いは見られないが、「空気や水」は新川地区、「自然環境」「食べ物」「災害や犯罪が少ない」については高岡地区、「大きな家に住める」は砺波地区で、回答割合が若干高い。

#### (3) 定住意識による区分（図表Ⅱ－1－3）

定住希望者は、「空気や水がきれい」（ずっと住みたい85.1%、一度は県外へ出ても、富山に戻って住みたい84.7%）「米や新鮮な魚など、食べ物がおいしい」（同86.2%、82.8%）「山、川、海等の自然環境に恵まれている」（同87.7%、80.7%）などを富山の魅力として挙げている。

一方、非定住希望者においても富山県の自然や食に対する評価は高く、また「災害や犯罪が少なく安全である」（63.6%）「大きな家に住める」（31.8%）「教育水準が高い」（10.4%）を魅力とする割合も比較的高い。

図表Ⅱ－１－１ 富山県の魅力〈男女別、MA：4〉





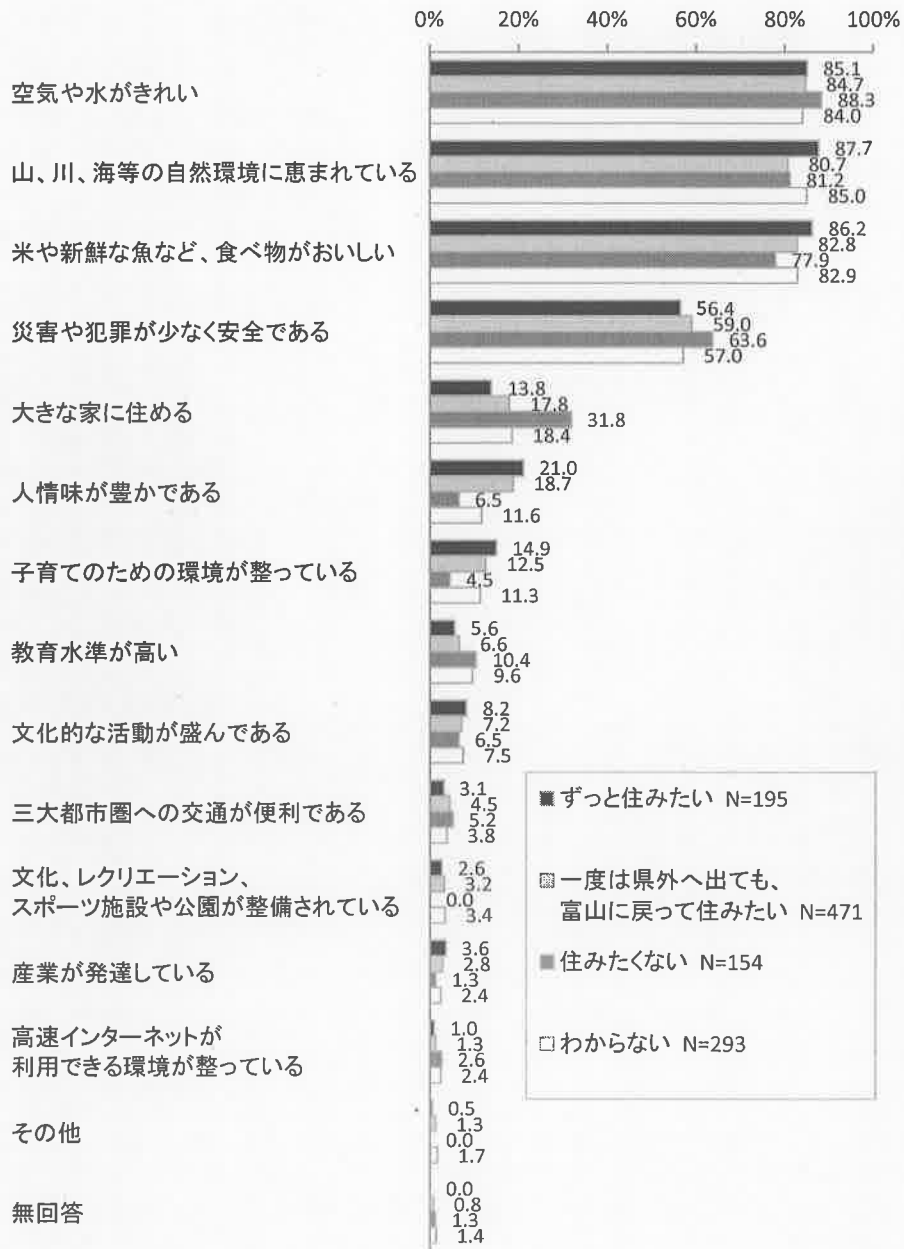
図表Ⅱ－１－２ 富山県の魅力〈学年別、地区別、上位5項目〉

順位	1年生 N=328		順位	2年生 N=394		順位	3年生 N=391		(%)
1位	山、川、海等の自然環境に恵まれている	83.5	1位	空気や水がきれい	87.6	1位	米や新鮮な魚など、食べ物がおいしい	84.4	
2位	空気や水がきれい	83.2	2位	山、川、海等の自然環境に恵まれている	81.7	2位	空気や水がきれい	84.1	
2位	米や新鮮な魚など、食べ物がおいしい	83.2	3位	米や新鮮な魚など、食べ物がおいしい	80.7	2位	山、川、海等の自然環境に恵まれている	84.1	
4位	災害や犯罪が少なく安全である	56.4	4位	災害や犯罪が少なく安全である	57.6	4位	災害や犯罪が少なく安全である	61.6	
5位	大きな家に住める	17.4	5位	大きな家に住める	21.8	5位	大きな家に住める	18.2	

順位	富山地区 N=450		順位	高岡地区 N=344		順位	新川地区 N=181		順位	砺波地区 N=138	
1位	空気や水がきれい	87.6	1位	米や新鮮な魚など、食べ物がおいしい	85.5	1位	空気や水がきれい	88.4	1位	空気や水がきれい	84.8
2位	米や新鮮な魚など、食べ物がおいしい	83.3	2位	山、川、海等の自然環境に恵まれている	84.9	2位	山、川、海等の自然環境に恵まれている	84.0	2位	山、川、海等の自然環境に恵まれている	79.0
3位	山、川、海等の自然環境に恵まれている	82.7	3位	空気や水がきれい	80.2	3位	米や新鮮な魚など、食べ物がおいしい	81.2	3位	米や新鮮な魚など、食べ物がおいしい	76.1
4位	災害や犯罪が少なく安全である	58.4	4位	災害や犯罪が少なく安全である	61.3	4位	災害や犯罪が少なく安全である	55.2	4位	災害や犯罪が少なく安全である	57.2
5位	大きな家に住める	20.0	5位	大きな家に住める	19.2	5位	大きな家に住める	16.6	5位	大きな家に住める	20.3
									5位	人情味が豊かである	20.3

図表Ⅱ－１－３ 富山県の魅力〈定住意識別〉



前回: H22 (%)			
ずっと住みたい	一度は県外へ出ても、富山に戻って住みたい	住みたくない	わからない
78.9	73.1	76.3	72.6
74.5	75.0	75.7	79.3
77.6	76.1	64.7	72.9
27.3	29.4	24.9	28.4
14.3	14.4	19.7	13.0
8.1	11.9	0.6	6.7
-	-	-	-
4.3	2.5	8.1	5.4
3.1	3.4	1.7	3.7
0.6	1.9	1.2	1.0
2.5	0.8	0.6	0.7
1.9	1.9	19.7	1.7
0.0	0.6	2.3	0.7
1.2	0.8	3.5	1.7
0.0	1.3	1.7	1.7

## 2. 富山県に不足しているもの

問 11 あなたにとって、現在の富山県に不足しているものは何ですか。

次の中から3つ選んでその番号に○印をつけて下さい。

### (1) 全体の傾向(図表Ⅱ-2-1)・・・「イベント、コンサート」が不足

富山県に不足しているものとしては、「魅力あるイベント、コンサート」(55.1%)が最も高く、次いで「まちのにぎわい」(45.3%)「流行の商品が買える店」(43.5%)の順であり、いずれも都市としてのにぎわいに対する不足を指摘している。

前回調査と比較してみると、前回1位であった「まちのにぎわい」が6.9ポイント減少して、今回は2位となっている。また、前回7位であった「三大都市圏への便利な交通システム」を不足とする回答者は、北陸新幹線開業(H27.3)を挟んで3.5ポイント減少しており、順位を9位にまで下げている。

### (2) 回答者の属性別特徴

#### ① 男女別にみると(図表Ⅱ-2-1)・・・女子に、より強い「不足」意識

男女別にみると、「魅力あるイベント、コンサート」(男子49.9%、女子59.7%)「流行の商品が買える店」(同33.0%、53.0%)「通学するための公共交通機関」(同31.8%、47.2%)で顕著な差がみられ、女子の方が都市的魅力の不足を強く感じていることがうかがえる。

#### ② 学年別にみると(図表Ⅱ-2-2)・・・3年生は「高等教育機関」を求める

全体の1位項目である「魅力あるイベント、コンサート」(1年生58.8%、2年生55.1%、3年生51.9%)では、1年生の回答割合が最も高い。「魅力ある大学などの高等教育機関」(同23.5%、25.1%、36.3%)は3年生が最も高く、進学を控えた学年において進学先に不足を感じている様子がみてとれる。

#### ③ 学科別にみると(図表Ⅱ-2-4)

・・・普通科・探究科学科・国際科は「高等教育機関」「企業」、  
専門学科は「イベント、コンサート」「公共交通機関」

回答割合の上位3項目は、どちらの学科も「魅力あるイベント、コンサート」「まちのにぎわい」「流行の商品が買える店」の順である。また、普通科・探究科学科・国際科では「魅力ある大学などの高等教育機関」「魅力ある企業」が、専門学科では「魅力あるイベント、コンサート」「通学するための公共交通機関」の割合が、他方を大きく上回っている。

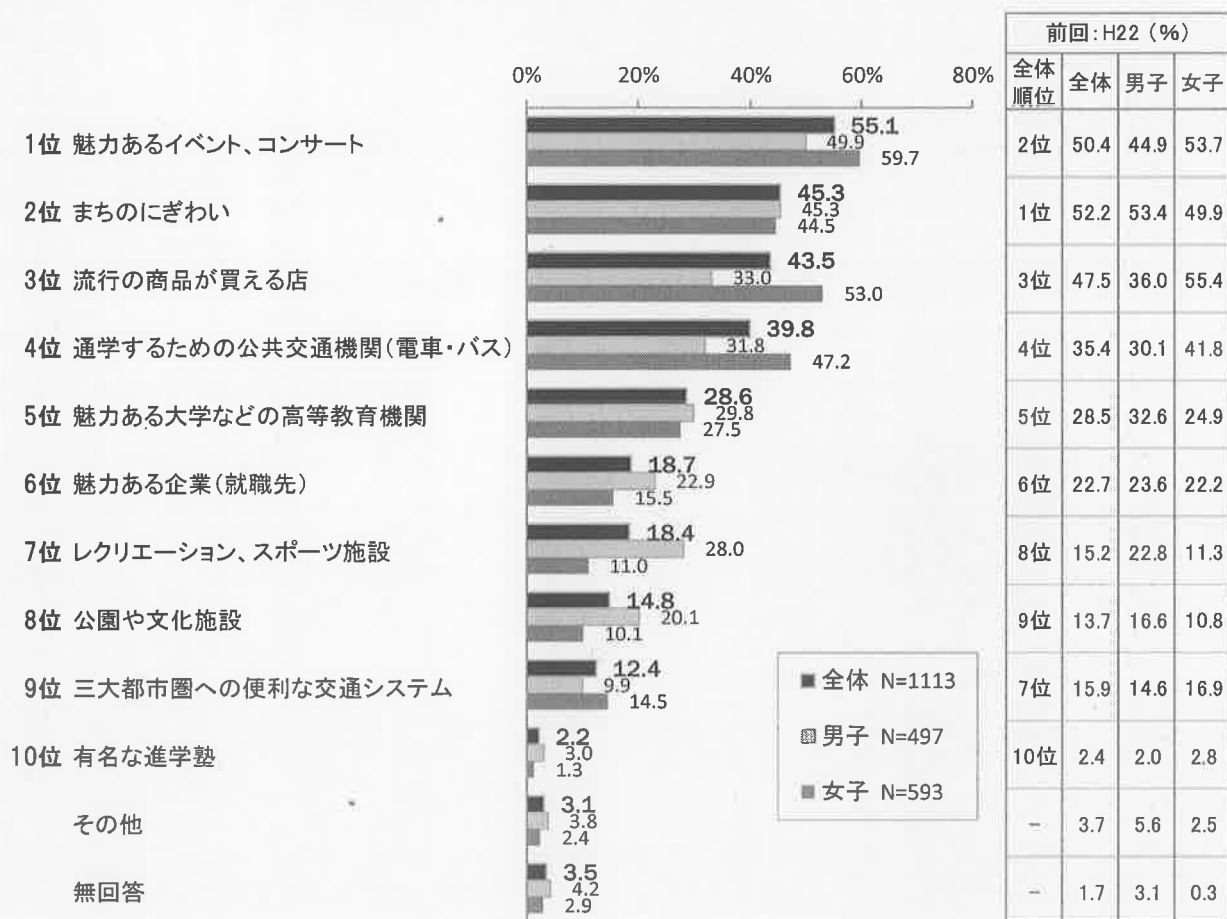
### (3) 定住意識による区分(図表Ⅱ-2-3)

定住意識によって不足感の差が大きく見られる項目は、「公園や文化施設」(ずっと住みたい24.1%、住みたくない11.0%)「魅力あるイベント、コンサート」(同51.3%、59.7%)などである。また、非定住希望者では、「通学するための公共交通機関」(46.1%)を挙げる割合が比較的高い。

(4) 希望進路による区分 (図表Ⅱ-2-5)

希望進路によって差が大きい項目についてみると、就職希望者では「魅力あるイベント、コンサート」(就職したい 61.3%、進学したい 53.2%)「流行の商品が買える店」(同 49.8%、41.2%)などに、進学希望者では「魅力ある大学などの高等教育機関」(同 13.4%、34.3%)「魅力ある企業」(同 12.0%、19.9%)などに対し、より強い不足感を持っている。

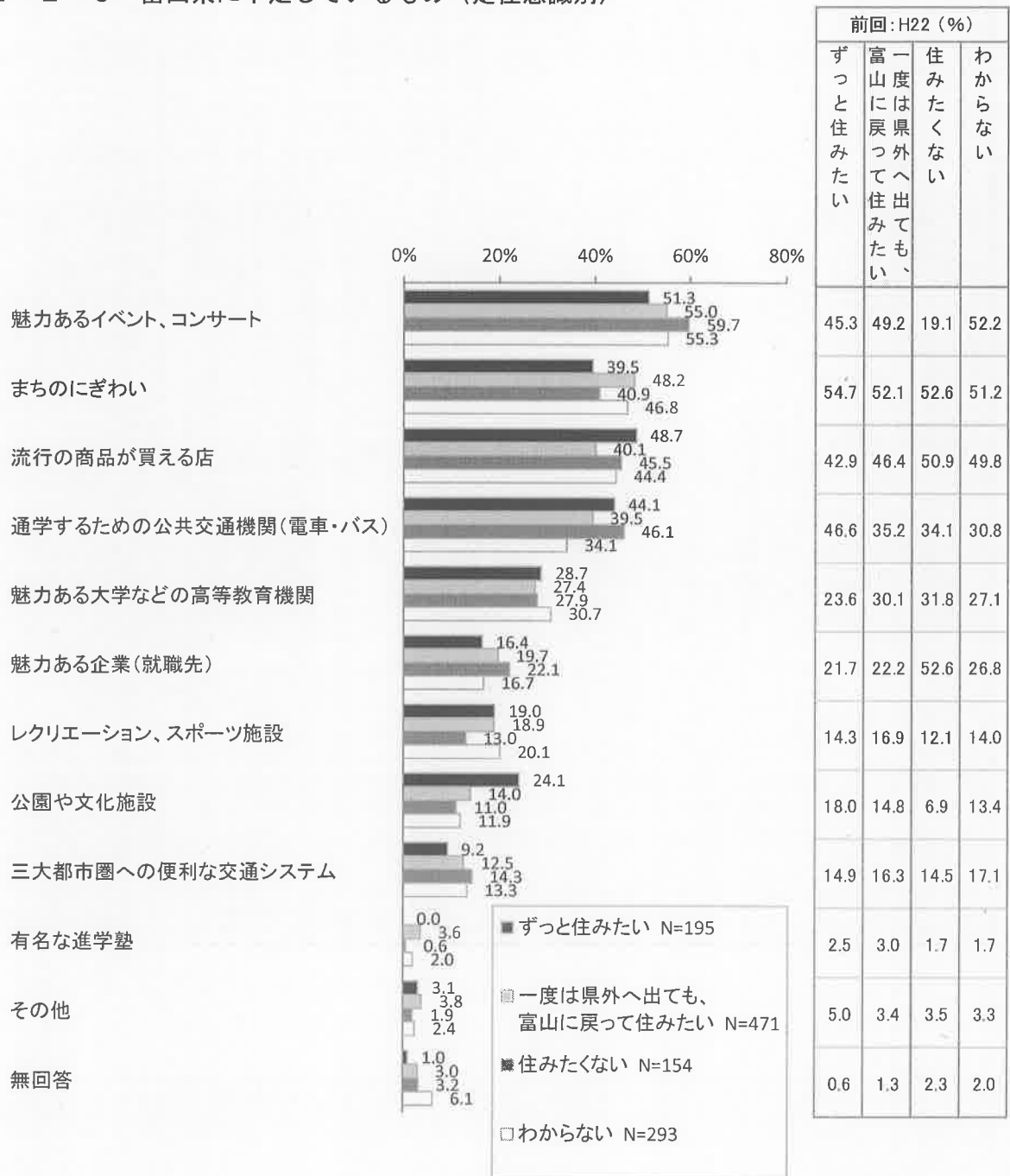
図表Ⅱ-2-1 富山県に不足しているもの〈男女別、MA:3〉



図表Ⅱ－２－２ 富山県に不足しているもの〈学年別、上位6項目〉

順位	1年生 N=328	順位	2年生 N=394	順位	3年生 N=391	(%)
1位	魅力あるイベント、コンサート 58.8	1位	魅力あるイベント、コンサート 55.1	1位	魅力あるイベント、コンサート 51.9	
2位	流行の商品が買える店 45.1	2位	まちなにぎわい 46.4	2位	まちなにぎわい 47.8	
3位	まちなにぎわい 40.9	3位	流行の商品が買える店 45.4	3位	流行の商品が買える店 40.2	
3位	通学するための公共交通機関(電車・バス) 40.9	4位	通学するための公共交通機関(電車・バス) 41.1	4位	通学するための公共交通機関(電車・バス) 37.6	
5位	魅力ある大学などの高等教育機関 23.5	5位	魅力ある大学などの高等教育機関 25.1	5位	魅力ある大学などの高等教育機関 36.3	
6位	魅力ある企業(就職先) 19.5	6位	魅力ある企業(就職先) 19.5	6位	レクリエーション、スポーツ施設 23.0	

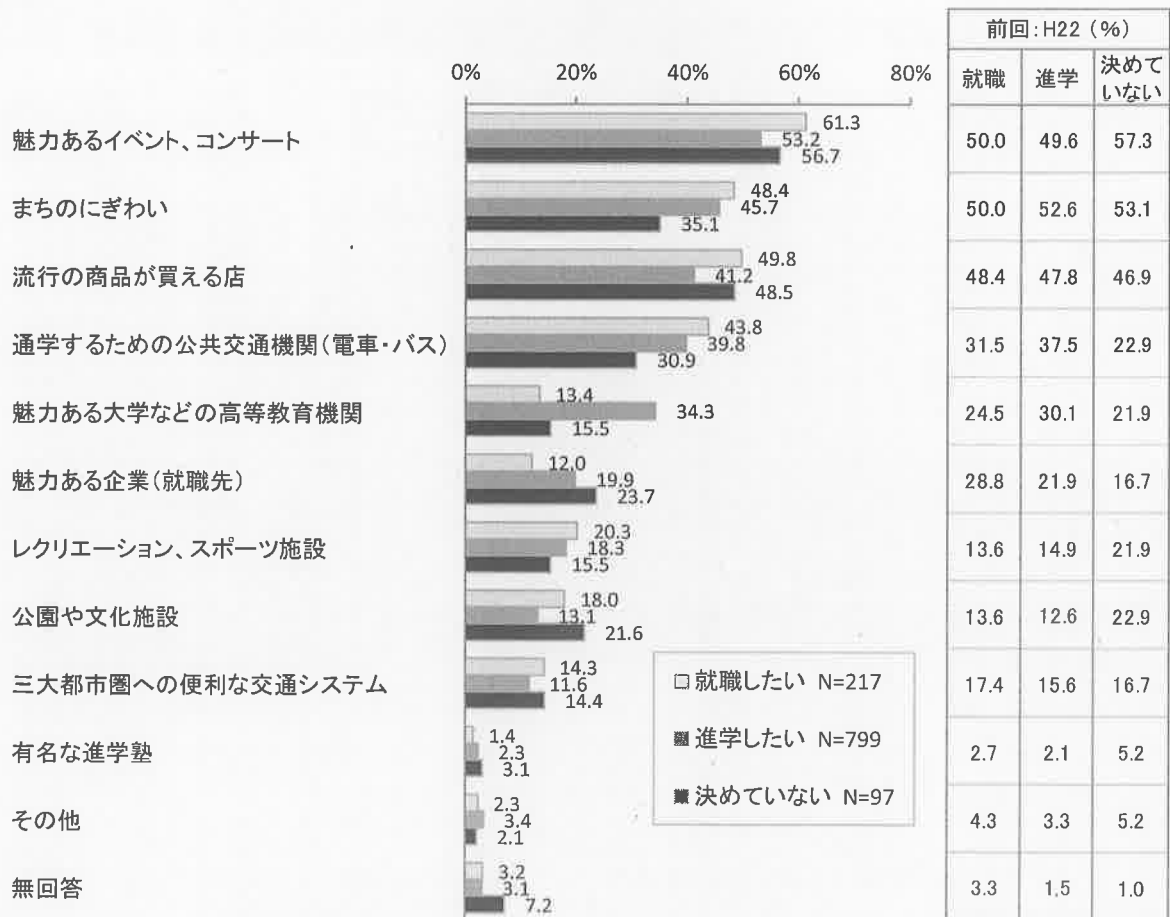
図表Ⅱ－２－３ 富山県に不足しているもの〈定住意識別〉



図表Ⅱ－２－４ 富山県に不足しているもの〈学科別、上位6項目〉

順位	普通科・探究科学科・国際科 N=724	順位	専門学科 N=389	(%)	
1位	魅力あるイベント、コンサート	51.5	1位	魅力あるイベント、コンサート	61.7
2位	まちのにぎわい	44.2	2位	まちのにぎわい	47.3
3位	流行の商品が買える店	41.9	3位	流行の商品が買える店	46.5
4位	通学するための公共交通機関(電車・バス)	38.4	4位	通学するための公共交通機関(電車・バス)	42.4
5位	魅力ある大学などの高等教育機関	33.8	5位	魅力ある大学などの高等教育機関	18.8
6位	魅力ある企業(就職先)	20.3	5位	レクリエーション、スポーツ施設	18.8

図表Ⅱ－２－５ 富山県に不足しているもの〈希望進路別〉



### 3. 現在の東京・富山のイメージ

問12 あなたは、「現在の東京」のイメージとして、どのようなことを思い浮かべますか。  
次の中から5つまで選んでその番号に○印をつけて下さい。

問13 あなたは、「現在の富山」のイメージとして、どのようなことを思い浮かべますか。  
次の中から5つまで選んでその番号に○印をつけて下さい。

#### (1) 全体の傾向（図表Ⅱ-3-1、Ⅱ-3-2）

##### ① 東京のイメージ・・・「便利」「情報が多い」「活気がある」「危険」「先進的」

東京のイメージは、「便利」(57.8%)「情報が多い」(56.2%)「活気がある」(53.8%)「先進的」(44.0%)とする反面、「危険」(49.1%)とも感じており、肯定的な要素と否定的な要素の両面が挙げられている。

前回調査と比較すると、肯定的な要素が増加、否定的な要素が減少してきている。

##### ② 富山のイメージ・・・「安全」「暮らしやすい」「美しい」「地味」「あたたかい」

一方、富山のイメージは、1～3位が「安全」(62.1%)「暮らしやすい」(61.9%)「美しい」(49.9%)と、肯定的なイメージが先行しているが、4位には「地味」(40.7%)、5位ではまた肯定的な「あたたかい」(34.7%)と続いている。

前回調査と比較すると、今回1位の「安全」は、前回から11.9ポイント増加しており、東日本大震災（H23）を経験したことの影響が考えられる。

#### (2) 回答者の属性別特徴（図表Ⅱ-3-3、Ⅱ-3-4）

##### ① 男女別・学年別にみると・・・東京は「便利」

東京のイメージは、第3位までは男女とも同じ項目が挙げられており、全体の傾向と同じである。

富山のイメージは、第3位までの項目が「安全」「暮らしやすい」「美しい」と共通している。また、「不便」は女子において回答割合が比較的高い。

#### (3) 定住意識による区分（図表Ⅱ-3-1、Ⅱ-3-2）・・・際立つ反対評価

定住意識による、東京に対するイメージは、定住希望者が「危険」(57.4%)を1位としているのに対し、非定住希望者は「便利」(65.6%)「情報が多い」(61.7%)「活気がある」「先進的」(53.9%)と肯定的なイメージが上位に連なる。

一方、富山に対するイメージは、定住希望者では「暮らしやすい」(71.8%)「安全」(67.7%)「美しい」(59.0%)「あたたかい」(48.2%)「豊か」(39.5%)と好イメージが続くが、非定住希望者では「地味」(55.2%)「不便」(53.2%)を上位とし、マイナスのイメージが強い。しかしながら非定住希望者においても半数以上が「安全」(52.6%)と回答しており、前回は大きく上回っている。

図表Ⅱ-3-1 現在の東京のイメージ〈定住意識別、上位10項目、MA:5〉

(96)

順位	全体 N=1113	前回: H22	順位	ずっと住みたい N=195	前回: H22	順位	一度は県外へ出ても、 富山に戻って住みたい N=471	前回: H22	順位	住みたくない N=154	前回: H22	順位	わからない N=293	前回: H22
1位	便利	57.8 ②53.8	1位	危険	57.4 ①58.4	1位	便利	60.3 ③52.5	1位	便利	65.6 ①60.1	1位	便利	56.0 ①58.2
2位	情報が多い	56.2 ①56.6	2位	情報が多い	51.8 ②50.9	2位	情報が多い	56.9 ②57.0	2位	情報が多い	61.7 ③59.5	2位	情報が多い	54.9 ②57.2
3位	活気がある	53.8 ④50.4	3位	活気がある	50.3 ⑤41.6	3位	活気がある	55.6 ④52.5	3位	活気がある	53.9 ①60.1	3位	活気がある	53.2 ④47.2
4位	危険	49.1 ③53.1	4位	便利	48.2 ⑥41.6	4位	危険	49.0 ①59.7	3位	先進的	53.9 ④45.7	4位	危険	48.5 ③47.8
5位	先進的	44.0 ⑥40.8	5位	派手	39.0 ③44.7	5位	先進的	47.1 ⑥39.0	5位	危険	40.3 ⑤39.9	5位	先進的	40.6 ⑤43.5
6位	明るい	33.2 ⑧28.2	6位	明るい	36.4 ②28.6	6位	明るい	31.8 ⑧28.0	6位	明るい	33.8 ⑦31.3	6位	明るい	33.1 ⑥26.1
7位	派手	31.9 ⑥39.2	7位	暮らしにくい	34.9 ⑦41.6	7位	派手	30.6 ⑤39.8	7位	派手	29.9 ⑥35.3	7位	派手	30.4 ⑥38.1
8位	汚い	27.9 ⑦34.2	8位	先進的	33.8 ③35.4	8位	汚い	27.0 ⑦37.5	8位	汚い	23.4 ⑧25.4	7位	暮らしにくい	30.4 ③23.7
9位	暮らしにくい	25.7 ⑨27.4	9位	汚い	30.8 ④42.9	9位	暮らしにくい	24.2 ⑧30.1	9位	個性がある	20.1 ⑩16.2	9位	汚い	29.7 ⑦29.4
10位	個性がある	12.2 ⑩9.7	10位	つめたい	11.3 ⑩19.3	10位	個性がある	13.4 ⑩14.4	10位	豊か	14.3 ⑩6.4	10位	狭い	13.3 ⑩11.0

図表Ⅱ-3-2 富山のイメージ〈定住意識別、上位10項目、MA:5〉

(96)

順位	全体 N=1113	前回: H22	順位	ずっと住みたい N=195	前回: H22	順位	一度は県外へ出ても、 富山に戻って住みたい N=471	前回: H22	順位	住みたくない N=154	前回: H22	順位	わからない N=293	前回: H22
1位	安全	62.1 ②50.2	1位	暮らしやすい	71.8 ①70.2	1位	暮らしやすい	69.2 ①65.5	1位	地味	55.2 ②50.3	1位	安全	61.1 ②53.5
2位	暮らしやすい	61.9 ①57.6	2位	安全	67.7 ③51.6	2位	安全	63.5 ②51.5	2位	不便	53.2 ①60.1	2位	暮らしやすい	58.7 ①55.5
3位	美しい	49.9 ③49.1	3位	美しい	59.0 ②52.2	3位	美しい	51.8 ②51.5	3位	安全	52.6 ③39.9	3位	美しい	48.1 ④44.1
4位	地味	40.7 ④43.3	4位	あたたかい	48.2 ④46.0	4位	あたたかい	38.6 ⑤39.6	4位	活気がない	41.6 ⑥35.3	4位	地味	45.7 ③48.5
5位	あたたかい	34.7 ⑥35.3	5位	豊か	39.5 ⑤43.5	5位	地味	38.0 ④39.8	5位	美しい	35.7 ③40.5	5位	不便	37.5 ⑤34.4
6位	不便	34.0 ⑤37.8	6位	地味	28.2 ⑥36.0	6位	豊か	37.6 ⑥36.9	6位	暮らしやすい	33.1 ⑦29.5	6位	豊か	32.4 ⑥31.4
7位	豊か	33.9 ⑦33.2	7位	明るい	23.6 ⑧21.1	7位	不便	30.4 ⑦36.4	7位	情報が少ない	31.8 ⑤38.2	7位	活気がない	24.9 ⑧23.4
8位	活気がない	23.9 ⑧24.1	8位	不便	22.1 ⑦25.5	8位	活気がない	21.7 ⑧23.3	8位	あたたかい	25.3 ⑦22.0	8位	あたたかい	24.2 ⑦30.8
9位	情報が少ない	15.9 ⑨22.5	9位	広い	14.4 ⑨19.3	9位	広い	14.4 ⑩17.6	9位	豊か	18.2 ⑩17.3	9位	情報が少ない	16.7 ⑨21.1
10位	明るい	13.9 ⑩16.2	10位	活気がない	13.8 ⑩14.9	10位	明るい	13.4 ⑩16.7	10位	暗い	15.6 ⑩13.3	10位	広い	14.0 ⑩16.4
10位	広い	13.9 ⑩17.1												



図表Ⅱ－３－３ 現在の東京のイメージ〈男女別、学年別、上位10項目〉

(%)

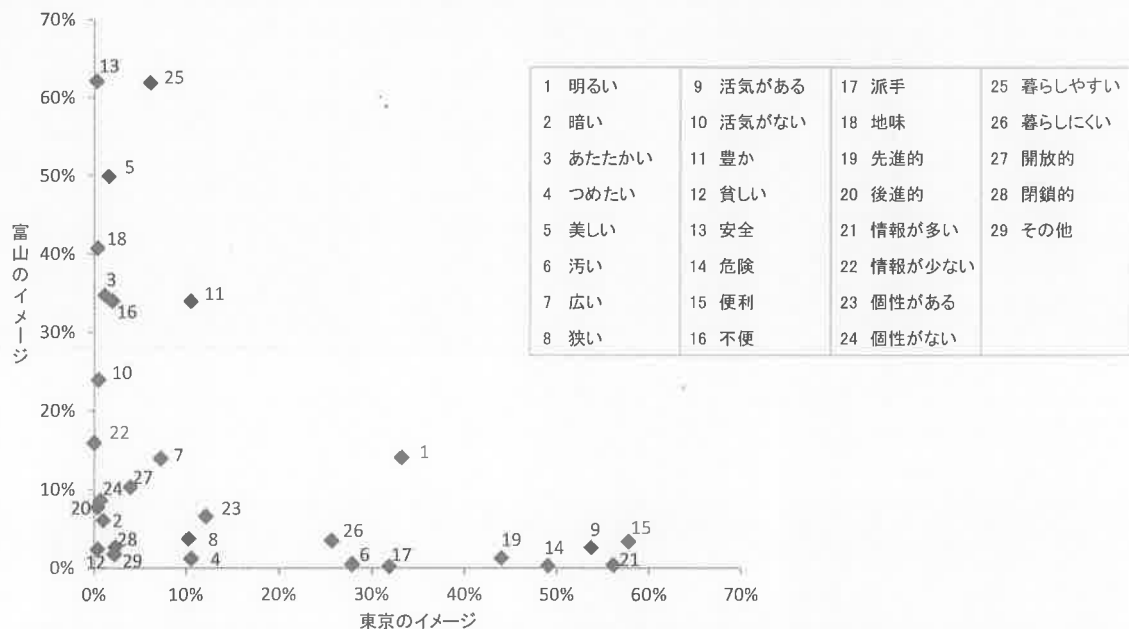
順位	男子 N=497	順位	女子 N=593	順位	1年生 N=328	順位	2年生 N=394	順位	3年生 N=391
1位	便利 55.1	1位	便利 59.5	1位	情報が多い 59.1	1位	便利 57.4	1位	活気がある 58.6
2位	情報が多い 53.3	2位	情報が多い 58.9	2位	便利 57.3	2位	情報が多い 55.3	1位	便利 58.6
3位	活気がある 50.5	3位	活気がある 57.3	3位	活気がある 54.3	3位	危険 49.0	3位	情報が多い 54.5
4位	先進的 45.9	4位	危険 55.1	4位	危険 47.3	4位	活気がある 48.7	4位	危険 50.9
5位	危険 42.5	5位	先進的 43.2	5位	明るい 42.4	5位	先進的 44.9	5位	先進的 48.1
6位	明るい 35.4	6位	派手 34.9	6位	先進的 38.1	6位	明るい 33.5	6位	暮らしにくい 28.1
7位	汚い 30.8	7位	明るい 30.9	7位	派手 36.0	7位	派手 33.0	7位	派手 27.4
8位	派手 28.4	8位	汚い 24.6	8位	汚い 24.7	8位	汚い 32.2	8位	汚い 26.1
9位	暮らしにくい 28.2	9位	暮らしにくい 23.8	9位	暮らしにくい 22.0	9位	暮らしにくい 26.4	9位	明るい 25.3
10位	豊か 14.7	10位	個性がある 15.5	10位	個性がある 14.9	10位	個性がある 10.7	10位	つめたい 12.8

図表Ⅱ－３－４ 現在の富山のイメージ〈男女別、学年別、上位10項目〉

(%)

順位	男子 N=497	順位	女子 N=593	順位	1年生 N=328	順位	2年生 N=394	順位	3年生 N=391
1位	安全 62.6	1位	暮らしやすい 63.1	1位	安全 64.3	1位	安全 62.9	1位	暮らしやすい 63.7
2位	暮らしやすい 61.6	2位	安全 62.6	2位	暮らしやすい 61.3	2位	暮らしやすい 60.7	2位	安全 59.3
3位	美しい 50.1	3位	美しい 49.4	3位	美しい 53.4	3位	美しい 47.2	3位	美しい 49.6
4位	地味 39.2	4位	地味 41.8	4位	豊か 41.2	4位	地味 41.1	4位	地味 43.5
5位	豊か 32.4	5位	不便 41.0	5位	地味 36.9	5位	不便 35.0	5位	あたたかい 37.6
6位	あたたかい 31.0	6位	あたたかい 37.8	6位	不便 33.5	6位	あたたかい 34.8	6位	不便 33.2
7位	不便 26.2	7位	豊か 35.4	7位	あたたかい 31.1	7位	豊か 30.2	7位	豊か 31.5
8位	活気がない 22.9	8位	活気がない 24.3	8位	活気がない 20.7	8位	活気がない 25.9	8位	活気がない 24.6
9位	明るい 19.1	9位	情報が少ない 16.7	9位	明るい 18.6	9位	情報が少ない 18.3	9位	広い 13.3
10位	広い 17.3	10位	広い 11.1	10位	情報が少ない 17.1	10位	広い 15.5	10位	情報が少ない 12.5

図表Ⅱ－３－５ 東京のイメージ／富山のイメージ



#### 4. 未来の社会に対する期待

問 14 あなたは、20年～30年後の社会で、どのようなことが実現されていけばよいと思いますか。次の中から3つ選んでその番号に○印をつけて下さい。

##### (1) 全体の傾向（図表Ⅱ-4-1）・・・がん・エイズ・福祉・環境への対応

20～30年後の社会への期待としては「がんやエイズが、克服される」(65.5%)が最も高く、次いで「福祉が充実し、自分たちが高齢者となっても、生活や介護の心配がない」(50.6%)「科学技術の進展により、エネルギー問題や環境問題が克服される」(38.8%)が高い割合で支持されている。全体的に未来型生活や夢の追求といった要素よりも、医療・福祉・環境といった、現在すでに問題視され、今後ますます深刻化するさまざまな問題の解決への期待感が大きい。

前回調査とは、上位3項目に変動はない。今回4位の「発達した情報通信システムの活用により、場所にとらわれない就業が可能となり、多様で柔軟な働き方が選択できる」(27.9%)は前回より9.4ポイント増加、「エネルギー問題や環境問題の克服」は前回より10.7ポイント減少している。

##### (2) 回答者の属性別特徴

###### ① 男女別にみると（図表Ⅱ-4-1）・・・女子で高い「福祉の充実」

女子は男子に比べて、「福祉の充実」(男子 35.2%、女子 64.1%)を期待する割合が極めて高く、福祉や老後の暮らしに対して、女子の問題意識がより高いことがうかがわれる。男子では「エネルギー問題や環境問題の克服」(同 43.7%、34.7%)「リニアモーターカーが高速交通の主役となる」(同 17.3%、9.3%)などが比較的高い。

###### ② 学年別にみると（図表Ⅱ-4-2）・・・1、2年生で都市化への期待大

各学年に共通して、「がんやエイズの克服」「福祉の充実」「エネルギー問題や環境問題の克服」「情報通信システムによる多様で柔軟な働き方」が上位に挙げられている。また、学年が下であるほど「地方都市でも超高層ビルが立ち並び、地下街も増える」(1年生 24.1%、2年生 21.6%、3年生 13.8%)の回答割合が高く、低学年の都市化へのあこがれがうかがえる。

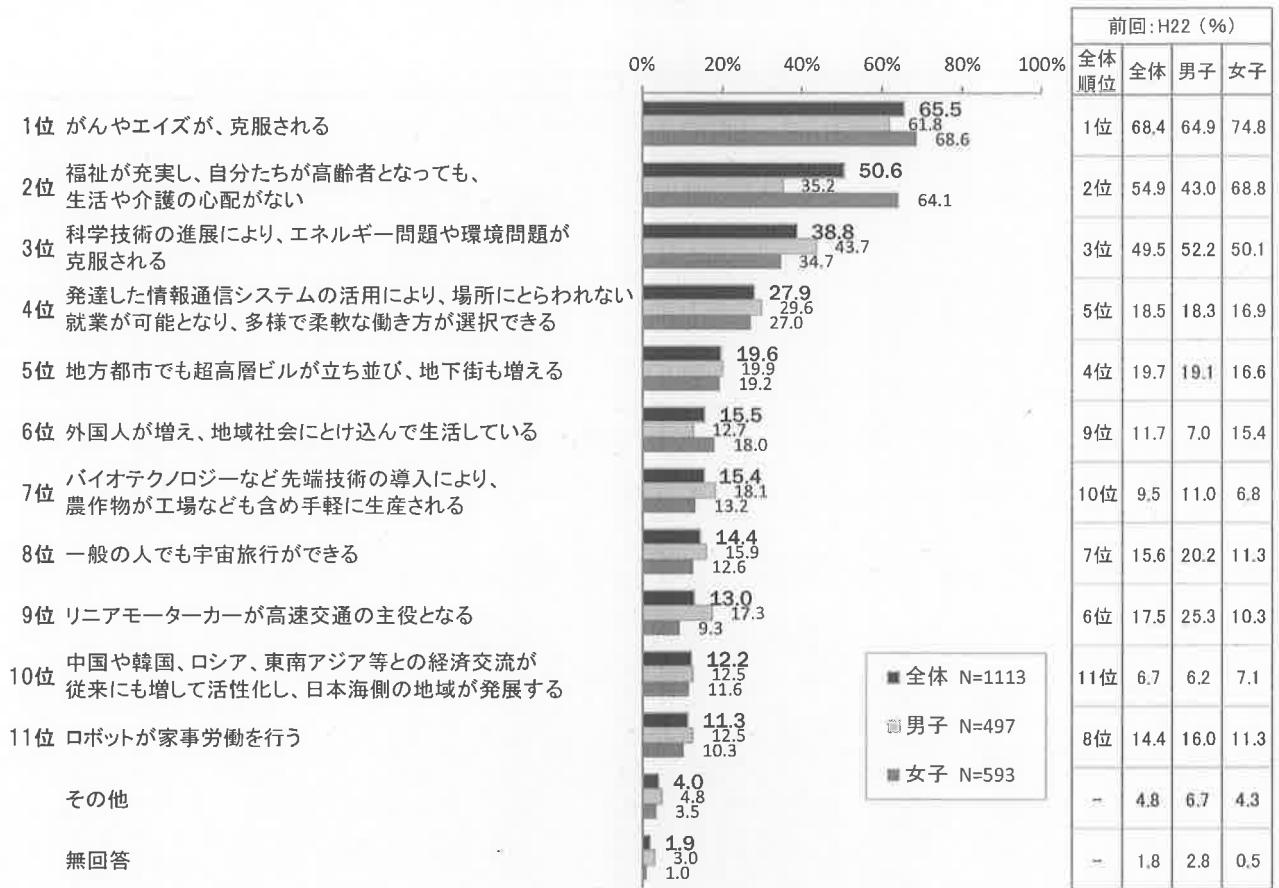
##### (3) 定住意識による区分（図表Ⅱ-4-3）

###### ・・・定住希望者は医療・福祉、非定住希望者は都会的に

定住意識によって差異が大きい項目についてみると、定住希望者では「がんやエイズの克服」(ずっと住みたい 73.3%、一度は県外へ出て、富山に戻って住みたい 65.4%、住みたくない 62.3%)「福祉の充実」(同 54.9%、52.2%、45.5%)「エネルギー問題や環境問題の克服」(同 39.5%、38.0%、34.4%)が高い。

一方、非定住希望者では「情報通信システムによる多様で柔軟な働き方」(同 20.5%、30.6%、28.6%)「地方都市でも超高層ビルが立ち並び、地下街も増える」(同 16.4%、18.3%、24.7%)「外国人が増え、地域社会にとけ込んで生活している」(同 10.3%、17.4%、20.1%)などが高く、都会的な利便性や多様性を期待する傾向がみられる。

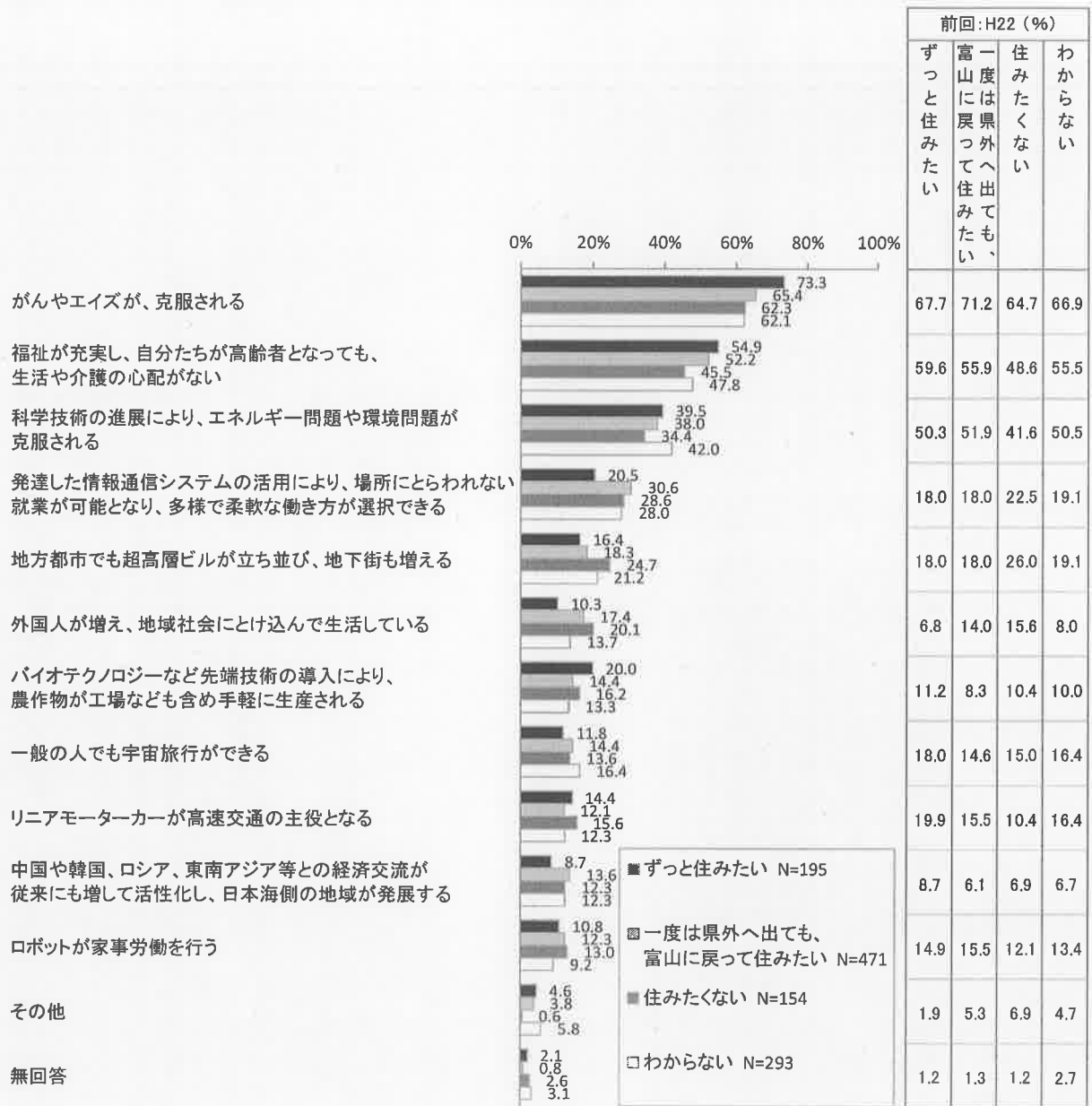
図表Ⅱ－４－１ 未来の社会に対する期待〈男女別、MA：3〉



図表Ⅱ－４－２ 未来の社会に対する期待〈学年別、上位5項目〉

順位	1年生 N=328	順位	2年生 N=394	順位	3年生 N=391
1位	がんやエイズが、克服される 66.2	1位	がんやエイズが、克服される 66.2	1位	がんやエイズが、克服される 64.2
2位	福祉が充実し、自分たちが高齢者となっても、生活や介護の心配がない 43.9	2位	福祉が充実し、自分たちが高齢者となっても、生活や介護の心配がない 55.8	2位	福祉が充実し、自分たちが高齢者となっても、生活や介護の心配がない 50.9
3位	科学技術の進展により、エネルギー問題や環境問題が克服される 36.3	3位	科学技術の進展により、エネルギー問題や環境問題が克服される 37.1	3位	科学技術の進展により、エネルギー問題や環境問題が克服される 42.7
4位	発達した情報通信システムの活用により、場所にとらわれない就業が可能となり、多様で柔軟な働き方が選択できる 26.8	4位	発達した情報通信システムの活用により、場所にとらわれない就業が可能となり、多様で柔軟な働き方が選択できる 28.9	4位	発達した情報通信システムの活用により、場所にとらわれない就業が可能となり、多様で柔軟な働き方が選択できる 27.6
5位	地方都市でも超高層ビルが立ち並び、地下街も増える 24.1	5位	地方都市でも超高層ビルが立ち並び、地下街も増える 21.6	5位	バイオテクノロジーなど先端技術の導入により、農作物が工場なども含め手軽に生産される 16.6

図表Ⅱ-4-3 未来の社会に対する期待〈定住意識別〉



## 5. 未来の住んでみたい富山

問 15 あなたが住んでみたい未来の富山県とはどのような県ですか。

次の中から3つ選んでその番号に○印をつけて下さい。

### (1) 全体の傾向 (図表Ⅱ-5-1)・・・豊かな自然環境が第1位

住んでみたい未来の富山県について、最も多い回答は「空気がきれいで、豊かな自然環境が守られている県」(59.6%)、次いで「災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる県」(41.6%)「道路や鉄道などの交通が整備され、どこにでも気軽に行き来できる県」(34.7%)となっている。

前回調査と比較してみると、前回5位であった「道路や鉄道などの交通が整備され、どこにでも気軽に行き来できる県」が6.2ポイント増加して3位に、前回3位の「災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる県」が4.7ポイント増加して2位となっている。

### (2) 回答者の属性別特徴

#### ① 男女別にみると (図表Ⅱ-5-1)

・・・男子は自然環境・趣味やスポーツ、女子は買い物の利便性・福祉や医療の充実

男女間の差異が大きい項目についてみると、男子は「空気がきれいで、豊かな自然環境が守られている県」(男子66.6%、女子53.8%)「趣味やスポーツを楽しむことのできる県」(同30.0%、15.2%)の回答割合が高く、女子は「買い物が便利で、市街地に活気のある県」(同24.5%、37.3%)「福祉や医療サービスが充実し、お年寄りや障害のある人が大切にされる県」(同14.1%、26.3%)が高い。それぞれ他方を大きく上回っており、男子は豊かな自然と楽しい環境を望み、一方、女子は買い物が便利で福祉・医療の充実した県を期待している。

#### ② 学年別にみると (図表Ⅱ-5-3、結果の数表)

・・・1年生は買い物の利便性、3年生は教育環境・働く場

学年が低いほど「買い物が便利で、市街地に活気のある県」(1年生37.8%、2年生32.0%、3年生25.3%)の回答割合が高い。一方、「教育環境がととのい、子供たちを伸び伸びと育てることのできる県」(同9.8%、15.5%、16.4%)「産業が盛んで、働く場に恵まれている県」(同8.8%、11.2%、14.6%)などは学年が高いほど回答割合も高く、将来を見据えての希望を、未来の富山県へと求めているさまがうかがえる。

### (3) 定住意識による区分 (図表Ⅱ-5-2)

・・・定住希望者は安心・安全、非定住希望者は都会的に

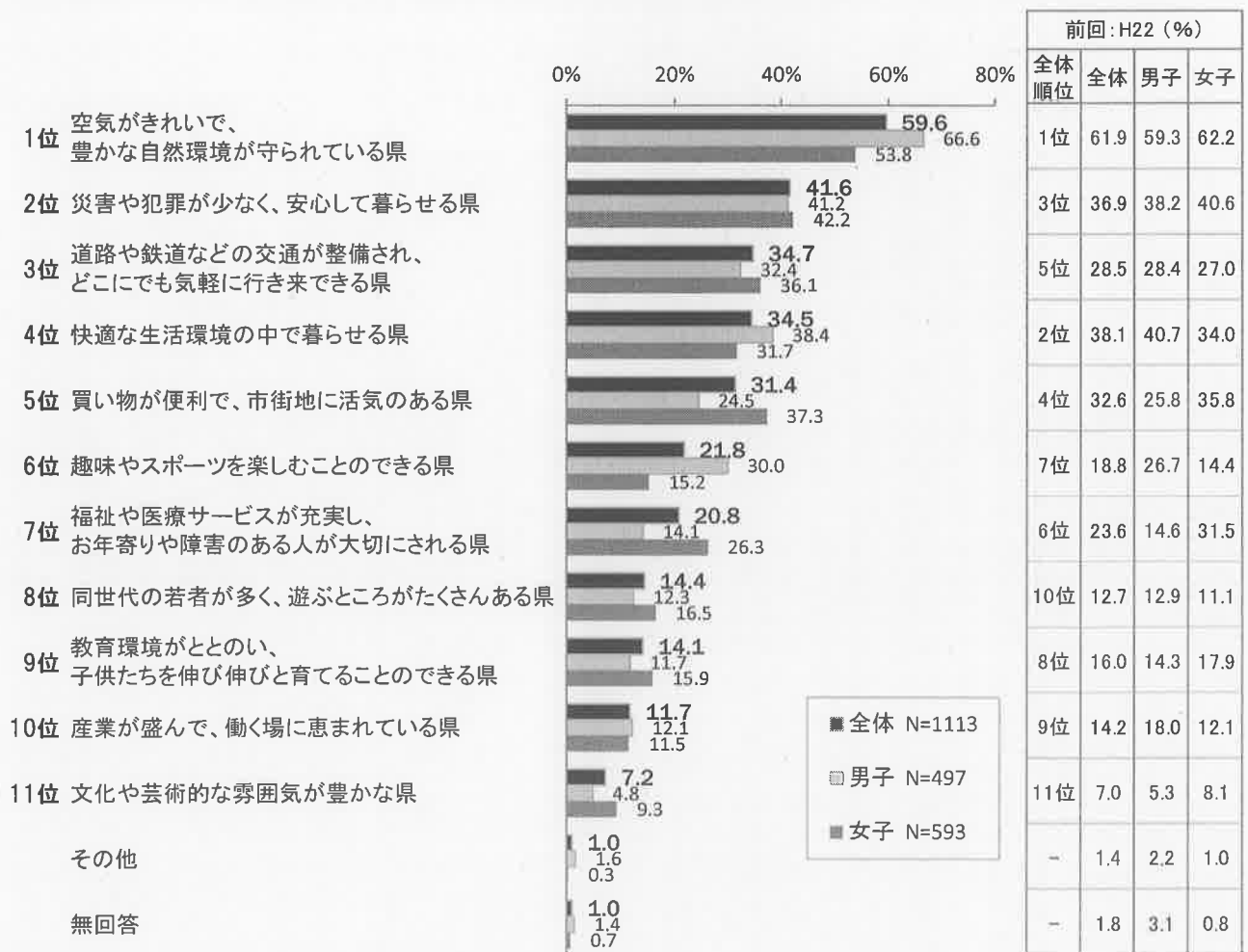
富山県への定住意識との関係で差異が大きい項目についてみると、定住希望者では「空気がきれいで、豊かな自然環境が守られている県」(ずっと住みたい64.6%、一度は県外へ出て、富山に戻って住みたい60.1%、住みたくない48.1%)「災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる県」(同47.2%、42.9%、29.9%)「福祉や医療サービスが充実し、お年寄りや障害のある人が大切にされる県」(同26.7%、23.1%、15.6%)などに対する期待が高く、自然環境の魅力や、福祉なども含めた安心・安全な生活を求めている。

非定住希望者では、「道路や鉄道などの交通が整備され、どこにでも気軽に行き来できる県」(同 29.2%、35.0%、42.9%)「買い物が便利で、市街地に活気のある県」(同 24.6%、30.6%、44.8%)「同世代の若者が多く、遊ぶところがたくさんある県」(同 9.7%、14.0%、24.7%)などへの期待が高く、都会的な便利さやにぎわいを求めていることが分かる。

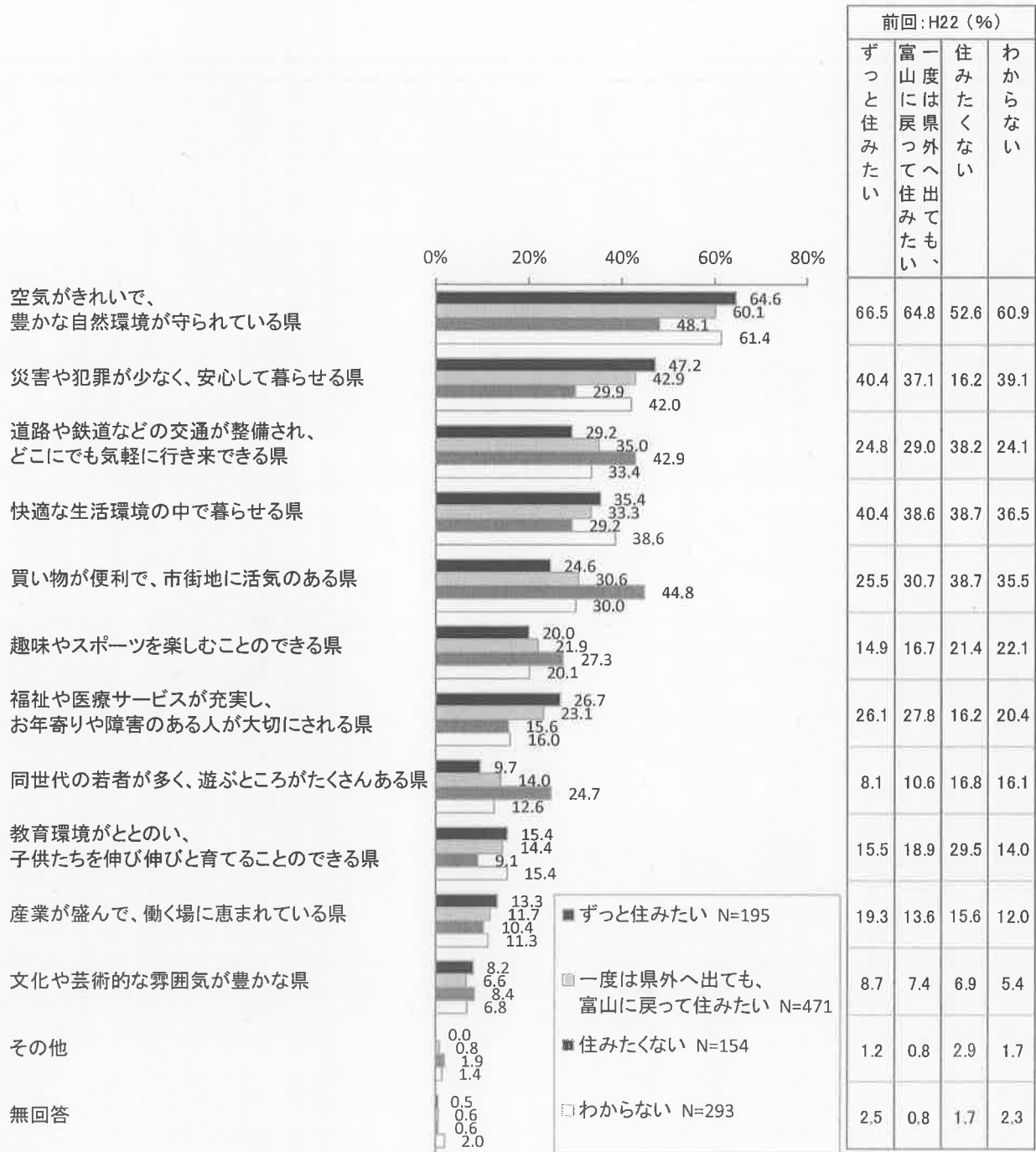
(4) 希望進路による区分 (図表Ⅱ-5-4)

希望進路による違いはあまり大きくないが、「道路や鉄道などの交通が整備され、どこにでも気軽に行き来できる県」(就職したい 40.6%、進学したい 33.4%)「買い物が便利で、市街地に活気のある県」(同 35.9%、30.2%)などで就職希望者の回答割合が高く、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる県」(同 37.3%、42.6%)「文化や芸術的な雰囲気が豊かな県」(同 2.8%、8.4%)などでは進学希望者の回答割合が高くなっている。

図表Ⅱ-5-1 未来の住んでみたい富山 (男女別、MA:3)



図表Ⅱ-5-2 未来の住んでみたい富山〈定住意識別〉



図表Ⅱ-5-3 未来の住んでみたい富山〈学年別、上位5項目〉

順位	1年生 N=328	順位	2年生 N=394	順位	3年生 N=391	(%)
1位	空気がきれいで、豊かな自然環境が守られている県 57.3	1位	空気がきれいで、豊かな自然環境が守られている県 62.2	1位	空気がきれいで、豊かな自然環境が守られている県 58.8	
2位	災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる県 43.9	2位	災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる県 36.5	2位	災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる県 44.8	
3位	買い物が便利で、市街地に活気のある県 37.8	3位	道路や鉄道などの交通が整備され、どこにでも気軽に行き来できる県 34.3	3位	快適な生活環境の中で暮らせる県 35.3	
4位	道路や鉄道などの交通が整備され、どこにでも気軽に行き来できる県 37.2	4位	快適な生活環境の中で暮らせる県 34.0	4位	道路や鉄道などの交通が整備され、どこにでも気軽に行き来できる県 33.0	
5位	快適な生活環境の中で暮らせる県 34.1	5位	買い物が便利で、市街地に活気のある県 32.0	5位	買い物が便利で、市街地に活気のある県 25.3	

図表Ⅱ-5-4 未来の住んでみたい富山〈希望進路別〉





## 6. 富山県をよくするための方法

問 16 あなたは、未来の富山県をよくするためには、今後10年間でどのような取り組みをすればよいと思いますか。次の中から5つ選んでその番号に○印をつけて下さい。

### (1) 全体の傾向（図表Ⅱ－6－1）・・・「活気ある商店街」「コンサート等」の充実

未来の富山県をよくするための今後10年間の取り組みとして、「人が集まる活気のある商店街をつくる」(45.9%)「人気の高いコンサートやプロスポーツ等を見る機会を増やす」(45.7%)「お年寄りが地域で安心して暮らせるよう福祉を充実する」(41.2%)「道路・鉄道などの交通システムを整備する」(39.0%)「伝統文化を大事にする」(37.4%)の順に挙げられており、都会的な活気や都市整備等が重要と考えられている。

前回調査と比較してみると、「除雪対策の推進や雪を利用したイベントなどを行う」「コンサートやプロスポーツ」「交通システムの整備」などの増加が目立っている。

### (2) 回答者の属性別特徴

#### ① 男女別にみると（図表Ⅱ－6－1）・・・女子は福祉や活気、男子はスポーツや生活環境

男女で違いが大きな項目についてみると、「活気のある商店街」(男子 41.0%、女子 50.3%)「福祉の充実」(同 31.2%、49.2%)などで女子が男子を大きく上回り、逆に男子は「まちの美化や下水道など生活環境をよくする」(同 33.2%、23.1%)「スポーツ・レクリエーションの場を拡充・整備する」(同 23.3%、10.5%)「プロスポーツチームと連携して、地域のスポーツ活動を活性化させる」(同 15.5%、4.2%)などで女子を上回っている。

#### ② 学年別にみると（図表Ⅱ－6－2）・・・3年生は「娯楽施設」「高等教育機関」の充実

3年生では「娯楽施設を増やす」(1年生 32.3%、2年生 33.5%、3年生 44.0%)ことを最も重視しており、他学年の回答割合を10ポイント以上上回っている。また、「魅力ある大学などの高等教育機関を増やす」(同 20.7%、23.9%、29.2%)も比較的高い反面、福祉や医療、伝統文化などは、他学年に比べて低い。

#### ③ 学科別にみると（図表Ⅱ－6－3、結果の数表）・・・大きな差はない

上位項目の順位もほとんど変わらず、回答割合にも大きな差異はみられない。普通科・探究科学科・国際科では「高等教育機関」(普通・探究・国際 26.7%、専門 21.3%)が、専門学科では「除雪対策や雪のイベント」(同 17.8%、23.7%)が、他方よりも順位・割合ともに高い。

(3) 定住意識による区分 (図表Ⅱ-6-4) ・ ・ ・ 定住希望者は福祉、伝統文化、医療

富山県の定住意識による違いについてみると、定住希望者は「福祉の充実」(ずっと住みたい 52.8%、一度は県外へ出ても、富山に戻って住みたい 43.3%、住みたくない 24.7%)「伝統文化を大事にする」(同 45.6%、36.9%、27.3%)「医療機関を充実する」(同 42.6%、34.2%、28.6%)の順に重視しており、非定住希望者の回答割合を大きく上回っている。

逆に非定住希望者では、「コンサートやプロスポーツ」(同 36.9%、44.8%、59.1%)「活気のある商店街」(同 34.4%、47.8%、53.9%)「娯楽施設を増やす」(同 25.6%、35.7%、50.0%)の順に重視しており、定住希望者の回答割合をそれぞれ 20 ポイント前後 上回っている。

富山県への定住希望者は、地域内における“暮らしやすさ”の向上とともに、地域の持つ独自性を大切にすることを求めている。一方、非定住希望者は、都会的魅力の向上を求めている。

(4) 進路希望による区分 (図表Ⅱ-6-5)

現時点での就職希望者は「福祉の充実」(就職したい 45.6%、進学したい 38.8%)「生活環境」(同 32.7%、26.2%)「除雪対策や雪のイベント」(同 24.9%、19.1%)などで進学希望者を上回っており、福祉の充実や生活環境の整備などを必要としている。一方、進学希望者では「高等教育機関」(同 13.4%、29.0%)を求める割合が高い。

図表Ⅱ-6-1 富山県をよくするための方法〈男女別、MA：5〉



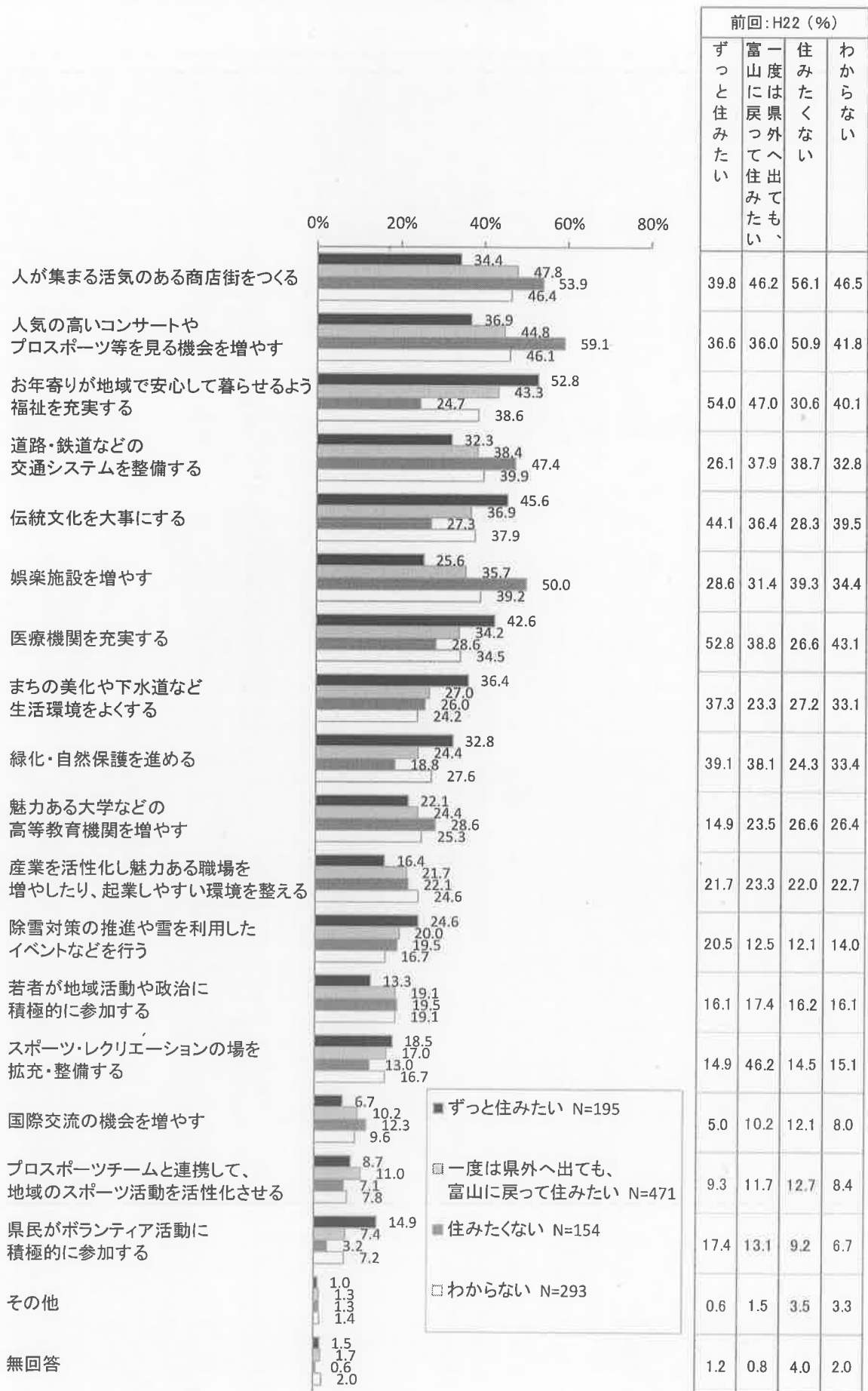
図表Ⅱ-6-2 富山県をよくするための方法〈学年別、上位10項目〉

順位	1年生 N=328		順位	2年生 N=394		順位	3年生 N=391		(%)
1位	人気の高いコンサートやプロスポーツ等を見る機会を増やす	49.7	1位	人が集まる活気のある商店街をつくる	47.2	1位	娯楽施設を増やす	44.0	
2位	人が集まる活気のある商店街をつくる	49.1	2位	人気の高いコンサートやプロスポーツ等を見る機会を増やす	46.4	2位	人が集まる活気のある商店街をつくる	41.9	
3位	伝統文化を大事にする	43.9	3位	お年寄りが地域で安心して暮らせるよう福祉を充実する	43.7	3位	人気の高いコンサートやプロスポーツ等を見る機会を増やす	41.7	
4位	お年寄りが地域で安心して暮らせるよう福祉を充実する	42.4	4位	道路・鉄道などの交通システムを整備する	39.8	4位	道路・鉄道などの交通システムを整備する	38.6	
5位	医療機関を充実する	39.0	5位	医療機関を充実する	36.8	5位	お年寄りが地域で安心して暮らせるよう福祉を充実する	37.6	
6位	道路・鉄道などの交通システムを整備する	38.4	6位	伝統文化を大事にする	36.5	6位	伝統文化を大事にする	32.7	
7位	娯楽施設を増やす	32.3	7位	娯楽施設を増やす	33.5	7位	医療機関を充実する	29.7	
8位	まちの美化や下水道など生活環境をよくする	29.6	8位	緑化・自然保護を進める	25.6	8位	魅力ある大学などの高等教育機関を増やす	29.2	
9位	緑化・自然保護を進める	25.9	9位	まちの美化や下水道など生活環境をよくする	25.4	9位	まちの美化や下水道など生活環境をよくする	28.6	
10位	魅力ある大学などの高等教育機関を増やす	20.7	10位	魅力ある大学などの高等教育機関を増やす	23.9	10位	産業を活性化し魅力ある職場を増やしたり、起業しやすい環境を整える	27.4	
10位	除雪対策の推進や雪を利用したイベントなどを行う	20.7							

図表Ⅱ-6-3 富山県をよくするための方法〈学科別、上位10項目〉

順位	普通科・探究科学科・国際科 N=724		順位	専門学科 N=389		(%)
1位	人が集まる活気のある商店街をつくる	44.3	1位	人が集まる活気のある商店街をつくる	48.8	
2位	人気の高いコンサートやプロスポーツ等を見る機会を増やす	44.2	2位	人気の高いコンサートやプロスポーツ等を見る機会を増やす	48.6	
3位	お年寄りが地域で安心して暮らせるよう福祉を充実する	38.8	3位	お年寄りが地域で安心して暮らせるよう福祉を充実する	45.5	
4位	道路・鉄道などの交通システムを整備する	38.4	4位	道路・鉄道などの交通システムを整備する	40.1	
5位	伝統文化を大事にする	38.3	5位	娯楽施設を増やす	36.5	
6位	娯楽施設を増やす	37.0	6位	伝統文化を大事にする	35.7	
7位	医療機関を充実する	35.8	7位	医療機関を充実する	33.4	
8位	まちの美化や下水道など生活環境をよくする	28.2	8位	まちの美化や下水道など生活環境をよくする	27.0	
9位	魅力ある大学などの高等教育機関を増やす	26.7	9位	緑化・自然保護を進める	26.7	
10位	緑化・自然保護を進める	25.6	10位	除雪対策の推進や雪を利用したイベントなどを行う	23.7	

図表Ⅱ-6-4 富山県をよくするための方法〈定住意識別〉



図表Ⅱ-6-5 富山県をよくするための方法〈希望進路別〉



## 7. 未来の富山県に対する期待

問17 最後に、あなたは未来の富山県に何を期待しますか。自由に書いて下さい。

未来の富山県への期待についての意見を、その要旨によって分類すると、従来豊かな自然環境に代表される“住みよい”富山県を守りつつも、買い物や公共交通機関の便利さといった“都会的”な発展が行われることを期待する意見が多い。

内容の傾向としては、「富山県ならではの良さを守りつつも活気が欲しい」といったものが多いものの、一方では、「従来を失うくらいならば無理に都市化する必要はない」という意見も多数挙げられている。

また、交通機関に関しては、県外とのアクセスを良くするよりも、身近な通学や買い物などの不便さから、バスや電車の本数の増加やダイヤの改正を訴える声が多い。自動車を運転できない高校生であるが故の切実さからか、同様の立場の高齢者に対しても共感がみられ、自動車がなくても不自由のないまち作りを求める意見もみられる。

\* 複数回答として集計

<b>「住みよい」富山県を守る</b>	<b>398</b>
1 快適な生活環境	99
2 豊かな自然環境（水・空気など環境の維持）	203
3 安心・安全・平和な暮らし（防災・防犯、助け合いの精神など）	185
<b>魅力ある都市</b>	<b>236</b>
4 活気ある県（街）	121
5 大型ショッピングセンター、流行ファッションを取り扱う店	67
6 都会的な開発、便利さ	77
<b>「楽しさ」を享受できる県</b>	<b>120</b>
7 娯楽施設などの遊べる場	62
8 有名アーティストのコンサートやイベントなど	50
9 もっと楽しめるまちづくり	17
<b>交通環境の整備</b>	<b>170</b>
10 県内の移動を便利・低料金に	145
11 県外とのアクセスを便利に	36
12 除雪・融雪・道路整備	10
<b>富山県の発展</b>	<b>106</b>
13 産業・経済の発展（働く場の拡充）	33
14 全国・北陸の中心的存在に、さらなる発展	21
15 発展によって富山県の良い部分を消さないこと	35
16 他県に誇れるような個性や独自性を持つこと	28

<b>文化・教育・スポーツ</b>	<b>82</b>
17 伝統文化の保護	17
18 大学など高等教育機関の増設、内容の充実	28
19 教育のあり方	8
20 スポーツ活動の活性化（施設等の拡充、プロスポーツチームの応援・新設など）	27
21 文化・芸術活動の活性化（施設等の充実など）	3
<b>医療・福祉の充実</b>	<b>50</b>
22 医療の発達	10
23 医療・福祉サービス、施設の拡充	40
24 医療費の無料化	2
<b>観光・交流</b>	<b>112</b>
25 富山県の知名度アップ、観光客増加	68
26 他県や国外から人を呼び込む魅力の維持・創出（観光スポット、特産物など）	44
27 国際交流の活性化	14
<b>県政に対する意見</b>	<b>55</b>
28 少子高齢化対策	18
29 市町村格差の解消	12
30 税金を無駄に使わない	4
31 街づくりの提言	9
32 その他意見	16
<b>その他</b>	<b>67</b>
33 今のままで良い	14
34 特に何も期待していない	9
35 その他意見	45



